

令和5年度

学 校 要 覧



沖縄県立泡瀬特別支援学校

〒904-2173 沖縄県沖縄市字比屋根5丁目2番20号

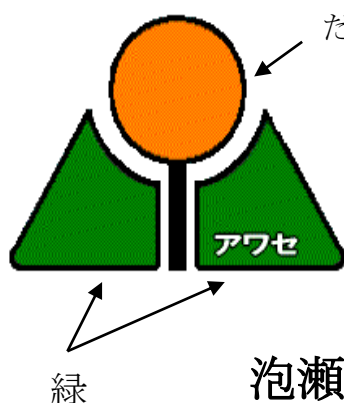
電 話 （098）932－7584

FAX （098）933－0797

<http://www.awase-sh.open.ed.jp/>

✉ : school@awase-sh.open.ed.jp

校 章



だいたい

形に関して

- ・ 障害を克服し、自立する生徒
- ・ 周囲から見守り、ささえる力

色に関して

- ・ だいたいは、躍動・活発なという意味
- ・ 緑は、安定・親愛・公平なという意味

泡瀬特別支援学校 校歌

作詞：中村 準

作曲：嶺井律子



校 歌

一

比屋根の原に空高く
松風さえる学園で
心に光ともしつつ
互いにのぞみ胸にして
はばたく翼つくろうよ
ああ、さわやかや泡瀬校

二

中城湾の陽をうけて
姿を見せる学園で
体に力たくわえつ
共に助けの手をのべて
若い命をそそごうよ
ああ、うるわしや泡瀬校

三

太平洋の波よせて
潮風まねく学園で
学びに魂もやしつつ
まことの筆をひびかせて
未来を永久にあゆもうよ
ああ、すばらしや泡瀬校

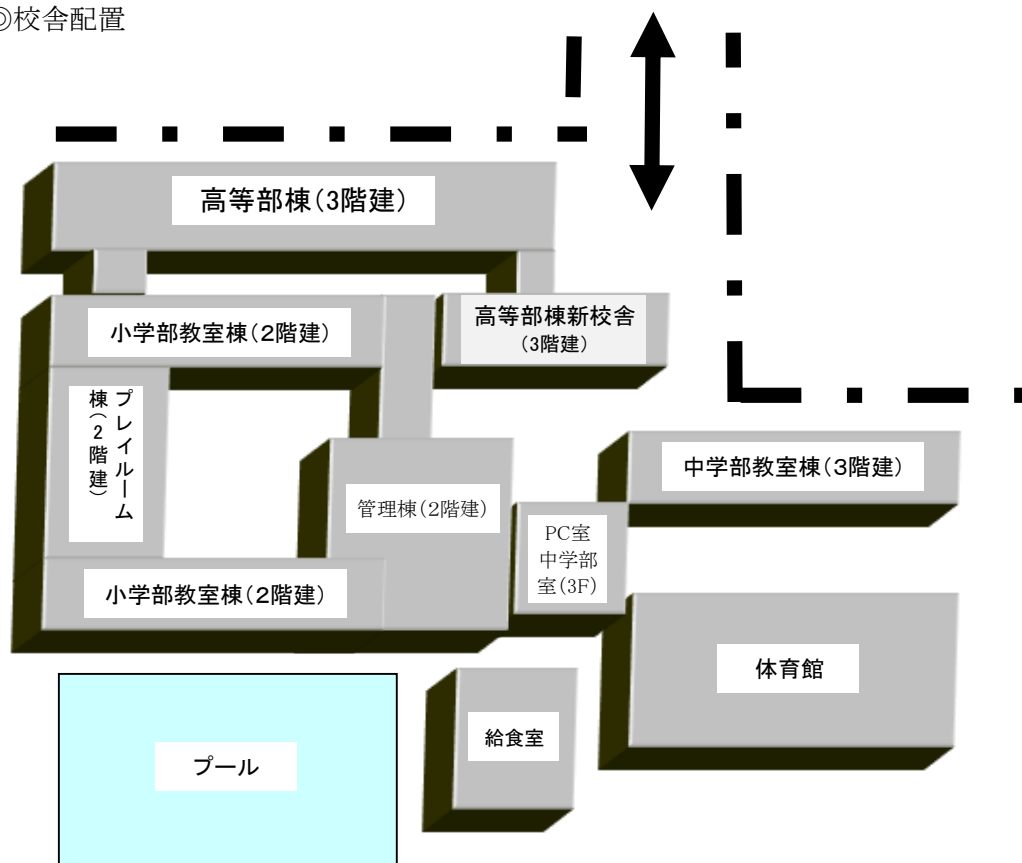
目 次

1	校舎配置図	1
2	学校沿革	2
3	歴代管理職及びPTA会長一覧	7
4	学校案内図	8
5	学校経営計画	9
6	教育課程	
	①教育目標、編成方針、各教科等の指導の重点	
	②年間授業日数配当表	
	③教育課程表（Ⅰ課程）、時数配当表（Ⅱ課程）	
	④使用教科書一覧	
(1)	小学部教育課程	13
(2)	中学部教育課程	23
(3)	高等部教育課程	34
7	児童生徒数	48
8	市町村別児童生徒数	49
9	疾病の状態等	51
10	日課表	53
11	学級編成表	55
12	進路状況	56
13	スクールバス運行計画	
	(1) バス運行図	57
	(2) 各コース（A・B）の学部毎利用児童生徒数一覧	61

1 校舎配置と交通案内図

- (1) 校 名 沖縄県立泡瀬特別支援学校（肢体不自由教育）
 (2) 設立年月日 昭和60年4月1日
 (3) 校 長 田盛 信寿
 (4) 所 在 地 沖縄市比屋根5丁目2番20号

◎校舎配置



棟 別	面積 (㎡)
管 理 棟 及 び 教 室 棟	3,050.00
プ ー ル 管 理 室 棟	72.00
給 食 室 棟	270.40
中 学 部 教 室 棟	863.92
特 別 教 室 棟	359.72
体 育 館	629.00
高 等 部 棟	2,447.23
新 校 舎 (高 等 部 棟)	486.3
計	8,178.57

校地面積 11,785.44㎡

(県有地5,473.44㎡、借地6,312㎡)

2 学校沿革

【昭和 54 年度】

- 4. 1 沖縄整肢療護園中部分園内に県立那覇養護学校分教室として開設
小学部、中学部 教諭7名、介助員1名発令
- 4.19 県立那覇養護学校中部分園分教室入級・入学式(小学部 19 名、中学部8名)
- 2.28 「沖縄県立学校の分校設置に関する規則の一部を改正する規則」
沖縄県教育委員会規則第 1 号)により沖縄県立那覇養護学校泡瀬分校が設置認可

【昭和 55 年度】

- 4. 1 中部分園教室から分校に昇格。沖縄県立那覇養護学校、泡瀬分校と改称
初代校長に本校校長平良正久（兼任）、教頭知念仁幸発令 職員数 19 名
- 4.21 県立那覇養護学校、泡瀬分校開校式、入学式举行（小学部）

【昭和 56 年度】

- 4. 9 第 2 回入学式举行（小学部 9 名入学）
- 10. 3 P T A 発足
- 3.23 卒業式並びに修了式（分校）

【昭和 57 年度】

- 4. 9 第 3 回入学式 小学部 11 名、中学部 1 名入学
- 3.25 校舎建築竣工

【昭和 58 年度】

- 4. 9 第 4 回入学式 小学部 4 名入学
- 6.22 校舎落成記念式典、祝賀会举行
- 3.24 卒業式並びに修了式（分投）

【昭和 59 年度】

- 4.10 第 5 回入学式 小学部 66 名、中学部 1 名入学 全児童生徒数 36 名
- 9.12 プール工事完了
- 3.19 第二期校舎増築工事竣工（二階教室、給食室）
- 3.23 卒業式並びに修了式（分校）

【昭和 60 年度】

- 4. 1 「沖縄県立高等学校の設置に関する条例の一部を改正する条例」により沖縄県立泡瀬養護
学校設立 初代校長 久高利男、教頭 伊波園子発令
- 4.10 第 1 回入学式 小学部 42 名、中学部 15 名 計 57 名入学（児童生徒数）
- 6.16 独立開校式典並びに祝賀会举行
- 2. 5 教育課程研究発表大会（県教育委員会指定）
- 3.24 第 1 回卒業式

【昭和 61 年度】

- 4. 8 第 2 回入学式 小学部 9 名、中学部 7 名入学 全児童生徒数 62 名
- 3.24 第 2 回卒業式

【昭和 62 年度】

- 4. 8 第 3 回入学式 小学部 10 名、中学部 6 名入学 全児童生徒数 63 名
- 3. 24 第 3 回卒業式並びに修了式

【昭和 63 年度】

- 4. 8 第 4 回入学式 小学部 10 名、中学部 2 名入学 全児童生徒数 57 名
- 3. 24 第 4 回卒業式並びに修了式

【平成元年度】

- 4. 8 第 5 回入学式 小学部 18 名、中学部 3 名入学 全児童生徒数 67 名
- 7. 5 文部省指定研究校 心身障害児適正就学推進研究
- 2. 13 中学部校舎竣工
- 3. 22 第 5 回卒業式並びに修了式

【平成 2 年度】

- 4. 9 第 6 回入学式 小学部 12 名、中学部 7 名入学 全児童生徒数 68 名
- 2. 18 文部省指定 心身障害児適正就学推進研究校終了
- 3. 22 第 6 回卒業式並びに修了式

【平成 3 年度】

- 4. 9 第 7 回入学式 小学部 8 名、中学部 3 名入学 全児童生徒数 69 名
- 12. 24 中学部棟 3 階建設工事（4 教室）竣工
- 3. 24 第 7 回卒業式並びに修了式 体育館建設工事竣工

【平成 4 年度】

- 4. 8 第 8 回入学式 小学部 17 名、中学部 8 名入学 全児童生徒数 82 名
- 4. 16 文部省指定 平成 4・5 年度「学校週五日制調査研究」研究校
- 3. 24 第 8 回卒業式（小学部 6 名 中学部 6 名）並びに修了式

【平成 5 年度】

- 4. 8 第 9 回入学式 小学部 13 名、中学部 7 名入学 全児童生徒数 83 名
- 12. 1 文部省指定 「学校週五日制調査研究協力校」 研究発表会
- 3. 24 第 9 回卒業式並びに修了式

【平成 6 年度】

- 4. 8 第 10 回入学式 小学部 4 名、中学部 11 名入学 全児童生徒数 83 名
- 3. 24 第 10 回卒業式並びに修了式

【平成 7 年度】

- 4. 10 第 11 回入学式 小学部 18 名、中学部 10 名入学 全児童生徒数 97 名
- 6. 17 創立 10 周年記念式典祝賀会举行
- 3. 22 第 11 回卒業式並びに修了式

【平成 8 年度】

- 4. 9 第 12 回入学式 小学部 19 名、中学部 10 名入学 全児童生徒数 97 名
- 3. 21 第 12 回卒業式並びに修了式

【平成9年度】

4. 8 第13回入学式 小学部18名、中学部10名入学 全児童生徒数112名

7. 17 皇太子殿下同妃殿下本校御視察

3. 20 第13回卒業式並びに修了式

【平成10年度】

4. 8 第14回入学式 小学部9名、中学部11名入学 全児童生徒数112名

3. 20 第14回卒業式並びに修了式

【平成11年度】

4. 8 第15回入学式 小学部5名、中学部10名入学 全児童生徒数98名

12. 8 平成11・12年度沖縄県教育委員会指定「教育課程の研究」中間発表

3. 23 第15回卒業式並びに修了式

【平成12年度】

4. 10 第16回入学式 小学部13名、中学部6名入学 全児童生徒数104名

12. 6 沖縄県教育委員会指定「教育課程研究」報告会

3. 22 第16回卒業式並びに修了式

3. 25 高等部棟竣工

【平成13年度】

4. 9 小・中学部第17回、高等部第1回入学式（小8名、中13名、高10名入学）全児童生徒数109名

6. 14 高等部校舎落成式典

3. 20 第17回卒業式並びに修了式

【平成14年度】

4. 8 小・中学部第18回、高等部第2回入学式（小25名、中18名、高10名入学）全児童生徒数134名

3. 20 第18回卒業式並びに修了式

【平成15年度】

4. 8 小・中学部第19回、高等部第3回入学式（小15名、中14名、高6名入学）全児童生徒数143名

2. 13 平成14・15年度沖縄県教育委員会指定心身障害児職業自立推進重点校研究報告会

研究テーマ「肢体不自由養護学校における社会参加・自立を目指した進路指導」

3. 5 高等部第1回卒業式（卒業生 男子7名、女子3名 計10名）

3. 23 小・中学部第19回卒業式（卒業生 小：男6名 女2名 計8名、中：男7名 女6名 計13名）

【平成16年度】

4. 8 小・中学部第20回、高等部第4回入学式（小18名、中7名、高11名入学）全児童生徒数148名

3. 4 高等部第2回卒業式（卒業生 男子3名、女子7名 計10名）

3. 23 小・中学部第20回卒業式並びに修了式（卒業生 小学部9名、中学部16名）

【平成17年度】

4. 7 小・中学部第21回、高等部第5回入学式（小14名、中8名、高13名入学）

11. 22 創立20周年記念式典・祝賀会举行

3. 10 高等部第3回卒業式（卒業生 男子2名、女子3名 計5名）

3. 23 小・中学部第21回卒業式並びに修了式（卒業生 小学部12名、中学部13名）

【平成 18 年度】

- 4. 7 小・中学部第 22 回、高等部第 6 回入学式(小 16 名, 中 11 名, 高 11 名入学) 全児童生徒数 157 名
- 11. 25 県緑化コンクール学校緑化準特選受賞
- 3. 13 高等部第 4 回卒業式 (卒業生 男子 4 名、女子 6 名 計 10 名)
- 3. 20 小・中学部第 22 回卒業式並びに修了式 (卒業生 小学部 8 名、中学部 10 名)

【平成 19 年度】

- 4. 7 小・中学部第 23 回、高等部第 7 回入学式 (小 15 名, 中 8 名, 高 10 名入学) 全児童生徒数 158 名
- 3. 12 高等部第 5 回卒業式 (卒業生 男子 8 名、女子 4 名 計 12 名)
- 3. 19 沖縄市花いっぱいコンクール「最優秀賞」受賞
- 3. 20 小・中学部第 23 回卒業式並びに修了式 (卒業生 小学部 23 名、中学部 7 名)

【平成 20 年度】

- 4. 8 小・中学部第 24 回、高等部第 8 回入学式 (小 16 名, 中 25 名, 高 6 名入学) 全児童生徒数 162 名
- 3. 13 第 6 回高等部卒業式 (卒業生 男子 8 名、女子 3 名 計 11 名)
- 3. 19 第 24 回小・中学部卒業式 (卒業生 小学部 11 名、中学部 12 名)

【平成 21 年度】

- 4. 8 小・中学部第 25 回、高等部第 9 回入学式 (小 7 名, 中 11 名, 高 10 名入学) 全児童生徒数 156 名
- 3. 17 第 7 回高等部卒業式 (卒業生 男子 7 名、女子 1 名 計 8 名)
- 3. 23 第 25 回小・中学部卒業式 (卒業生 小学部 18 名、中学部 8 名)

【平成 22 年度】

- 4. 8 小・中学部第 26 回、高等部第 10 回入学式(小 11 名, 中 20 名, 高 9 名入学) 全児童生徒数 161 名
- 10. 28 第 49 回全国学校歯科保健優良校表彰 優秀校受賞
- 3. 17 第 8 回高等部卒業式 (卒業生 7 名)
- 3. 23 第 26 回小・中学部卒業式 (卒業生 小学部 14 名、中学部 26 名)

【平成 23 年度】

- 4. 7 小・中学部第 27 回、高等部第 11 回入学式(小 9 名, 中 15 名, 高 24 名入学) 全児童生徒数 160 名
- 3. 13 第 9 回高等部卒業式 (卒業生 10 名)
- 3. 21 第 27 回小・中学部卒業式 (卒業生 小学部 15 名、中学部 11 名)

【平成 24 年度】

- 4. 10 小・中学部第 28 回、高等部第 12 回入学式(小 6 名, 中 15 名, 高 11 名入学) 全児童生徒数 158 名
- 2. 5 平成 24 年度沖縄県指定研修最終報告会
- 3. 5 第 10 回高等部卒業式 (卒業生 9 名)
- 3. 19 第 28 回小・中学部卒業式 (卒業生 小学部 15 名、中学部 17 名)

【平成 25 年度】

- 4. 9 小・中学部第 29 回、高等部第 13 回入学式(小 7 名, 中 15 名, 高 18 名入学) 全児童生徒数 154 名
- 3. 12 第 11 回高等部卒業式 (卒業生 24 名)
- 3. 19 第 29 回小・中学部卒業式 (卒業生 小学部 17 名、中学部 15 名)

【平成 26 年度】

4. 8 小・中学部第 30 回、高等部第 14 回入学式(小 9 名, 中 18 名, 高 15 名入学) 全児童生徒数 132 名
3. 16 第 12 回高等部卒業式 (卒業生 11 名)
3. 20 第 30 回小・中学部卒業式 (卒業生 小学部 6 名、中学部 15 名)

【平成 27 年度】

4. 8 小・中学部第 31 回、高等部第 15 回入学式(小 10 名, 中 4 名, 高 14 名入学) 全児童生徒数 140 名
3. 15 第 13 回高等部卒業式 (卒業生 18 名)
3. 18 第 31 回小・中学部卒業式 (卒業生 小学部 12 名、中学部 15 名)

【平成 28 年度】

4. 11 小・中学部第 32 回、高等部第 16 回入学式(小 8 名, 中 15 名, 高 16 名入学) 全児童生徒数 134 名
3. 14 第 14 回高等部卒業式 (卒業生 15 名)
3. 22 第 32 回小・中学部卒業式 (卒業生 小学部 10 名、中学部 19 名)

【平成 29 年度】

4. 10 小・中学部第 33 回、高等部第 17 回入学式(小 9 名, 中 9 名, 高 19 名入学) 全児童生徒数 128 名
3. 14 第 15 回高等部卒業式 (卒業生 14 名)
3. 20 第 33 回小・中学部卒業式 (卒業生 小学部 8 名、中学部 4 名)

【平成 30 年度】

4. 10 小・中学部第 34 回、高等部第 18 回入学式 (小 9 名, 中 8 名, 高 3 名入学) 全児童生徒数 105 名
3. 12 第 16 回高等部卒業式 (卒業生 16 名)
3. 20 第 34 回小・中学部卒業式 (卒業生 小学部 7 名、中学部 15 名)

【平成 31(令和元)年度】

4. 9 小・中学部第 35 回、高等部第 19 回入学式 (小 8 名, 中 7 名, 高 12 名入学) 全児童生徒数 109 名
3. 13 第 17 回高等部卒業式 (卒業生 15 名)
3. 19 第 35 回小・中学部卒業式 (卒業生 小学部 10 名、中学部 9 名)

【令和 2 年度】

5. 21 1 学期就任式並びに始業式
小・中学部第 36 回、高等部 20 回入学式 (小 3 名, 中 11 名, 高 9 名入学) 全児童生徒数 96 名
3. 12 第 18 回高等部卒業式 (卒業生 3 名)
3. 19 第 36 回小・中学部卒業式 (卒業生 小学部 9 名・中学部 7 名)

【令和 3 年度】

4. 8 小・中学部第 37 回、高等部 21 回入学式 (小 10 名, 中 10 名, 高 7 名入学) 全児童生徒数 104 名
3. 15 第 19 回高等部卒業式 (卒業生 12 名)
3. 18 第 37 回小・中学部卒業式 (卒業生 小学部 8 名・中学部 9 名)

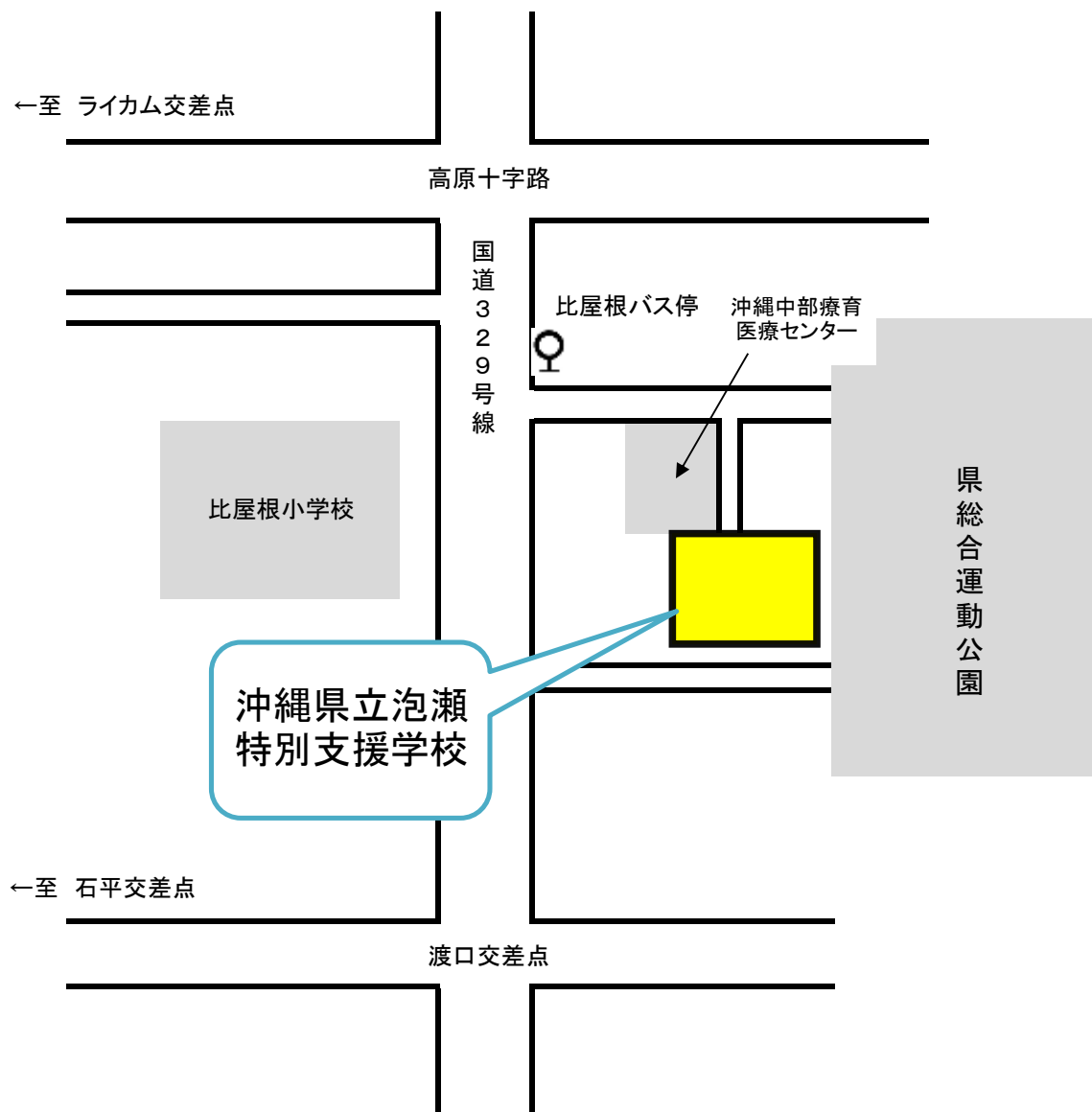
【令和 4 年度】

4. 11 小・中学部第 38 回、高等部 22 回入学式(小 9 名、中 7 名、高 9 名入学) 全児童生徒 98 名
3. 13 第 20 回高等部卒業式(卒業生:12 名)
3. 23 第 38 回小学部・中学部卒業式 (卒業生 小学部 6 名、中学部 11 名)

3 歴代管理職及びPTA会長一覧

		校長	教頭	教頭	事務長	PTA会長
1985	昭和 6 0	久高 利男	伊波 園子		山城 良朝	
1986	昭和 6 1		崎原 正繁		S61.10.31まで	
1987	昭和 6 2				S61.11.1から	
1988	昭和 6 3		中島 修		知念 恵美子	
1989	(昭和 6 4) 平成 1	宮城 孫尚	砂川 繁夫		國場 秀雄	
1990	平成 2					
1991	平成 3	新屋敷 秀樹	中地 名吉			
1992	平成 4		友利 敏雄			
1993	平成 5					
1994	平成 6	大城 勇一	仲宗根 政則		村山 勝信	
1995	平成 7					
1996	平成 8	銘苅 愛子	仲村 春吉		金城 通博	
1997	平成 9					
1998	平成 1 0	伊良皆 賢哲	山城光男 (～4/30) 重森誠司 (5/1～)		新垣 忠信	
1999	平成 1 1					
2000	平成 1 2	宮城 敏	重森誠司		儀間 哲也	
2001	平成 1 3					
2002	平成 1 4	長嶺 安三	仲宗根 三枝		宮城 悦子	
2003	平成 1 5					
2004	平成 1 6	宮城 哲子	砂川 正	比嘉 浩	宮城 理江子	
2005	平成 1 7					
2006	平成 1 8	宮城 進	座間味 恵利子	比嘉 守雄	宮城 光代	
2007	平成 1 9					
2008	平成 2 0	兼本 タ力子	真喜屋 祥子	砂川 正	小渡 靖	
2009	平成 2 1					
2010	平成 2 2	比嘉 良高	田港 規剛	瀬長 忍	比嘉 艶子	仲村 利江
2011	平成 2 3					
2012	平成 2 4	真喜屋 祥子	平良 功	内間 秀樹	長嶺 真勝	大金 良彦
2013	平成 2 5					
2014	平成 2 6	長浜 勝直	渡久地 直哉	大城 麻紀子	宮城 浩	
2015	平成 2 7					
2016	平成 2 8	友利 敏博	岩崎 政志	稲田 政博	金城 亨	桴海 郁水
2017	平成 2 9					
2018	平成 3 0	田盛 信寿	中村 元	下地 直子	波照間 美香	
2019	(平成31) 令和 1					
2020	令和 2					
2021	令和 3					
2022	令和 4					
2023	令和 5					

4 学校案内図



R5 泡瀬特別支援学校 スクール・ミッション及びスクール・ポリシー

スクール・ミッション(本校の社会的役割)

個に応じた、専門性の高い教育の実践を通して、「自分のもっている力を十分に発揮し、意欲的、主体的に生きる児童生徒」を育成する。

スクール・ポリシー(教育活動の指針となる3つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー(卒業後を見すえた育成方針)

- ・将来の豊かな生き方(もっている力を十分に発揮し、主体的に生きる)の実現に向け、「健康を保持する力」、「地域で楽しく生活する力」を育む。
- ・「地域で楽しく生活する力」の育成については、成長の土台となる「意欲、主体性」を育み、社会参加の基盤となる「人とかかわる力」を身につけさせ、さらに、有する力を最大限に発揮し、自分の意思により進路選択、地域での活動範囲・内容をひろげるために必要な力を育む。

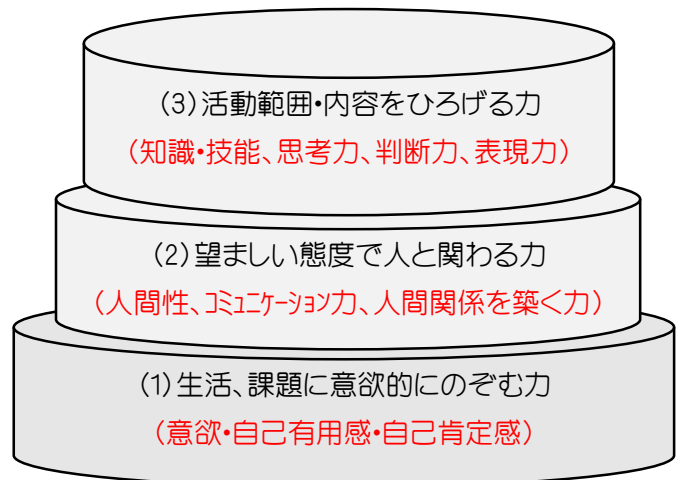
【目指す豊かな生き方】

- 適宜の支援のもと、自分の意思で活動する。
- 有する力を最大限に発揮し、周りの人のためになる働きかけ・活動をする。

①健康を保持する力

- ・自身の健康を意識する力
- ・健康の保持・増進に必要な活動に円滑に取り組める力等

②地域で楽しく生活する力



2 カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施に関する方針)

- ①学習指導要領、教育関係法令、本県の教育施策に基づいた教育課程を編成する。
- ②教育目標が効果的・効率的に達成されるよう、教育的ニーズを踏まえて編成する。
- ③必要に応じ適切な学習集団の確保がなされるよう弾力的な指導体制を構築する。

3 アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れに関する方針)

- ①「学校教育法施行令 第22条の3 肢体不自由者」に該当するもの
- ② 高等部への入学にあたっては、社会参加・自立に向けて、自身の有する力と可能性を最大限に伸ばそうとする意欲のあるもの

令和 5 年度 学校経営方針

1 本校の教育目標

「あかるく（明朗）・なかよく（愛）・たくましく（自立）」の校訓の下、児童生徒が一人一人に応じた自立・社会参加を実現し、豊かな人生を送ることができるようそれぞれが有する能力と可能性を最大限に伸ばし、「生きる力」を育む。

〈目指すべき豊かな生き方〉

- 必要に応じて支援を受けながら、自分の意思に添って好きなこと、やりたいことができる。
- 有する力を最大限に発揮して周りへ貢献したり良い影響を及ぼし、そこに喜びを見出す。

〈本校のめざす子ども像〉

- 自身の健康を意識する子
- 望ましい態度で人と関わりをもてる子
- 意欲的、主体的に活動し、自立しようとする子

2 本校の教育目標の達成に向けた基本方針

- (1) 児童生徒個々の「豊かな人生」がどのようなものか、その実現に必要な「生きる力」がどのようなものを本人、保護者と共有し、教育目標を立てる。
- (2) 「生きる力」を以下の観点で捉えて個に応じた教育目標を設定し、その達成に向け効果的・効率的な指導を展開する。

①「健康を保持する力」

②「地域で長く楽しく活動する力」

- 1) 生活、課題に意欲的にのぞむ力（意欲、自己有用感、自己肯定感）
- 2) 望ましい態度で人と関わる力（人間性、コミュニケーション力、人間関係を築く力）
- 3) 活動範囲・内容をひろげる力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）

1)は生涯にわたり成長するための基盤、2)は社会参加の基盤となる力であり、これらは「生きる力」の礎となる。さらに、個に応じて3)の力を育むことにより、進路や余暇の過ごし方等、生活の様々な場面における選択肢を増やし、より充実した社会参加・自立を目指す。

前述の基本方針に基づき、「本校のめざす教職員像」を以下のとおり示す。

〈本校のめざす教職員像〉

- 多様な角度から検討し、児童生徒の将来像を描く教職員
- 教育目標の達成に向け、手立てを論理的に考え、真摯に実践する教職員
- 支持的、協働的に学校運営に参画し、児童生徒から信頼される教職員

3 本年度の重点目標

- (1) 「生きる力」に係る成長の保障
- (2) 安全安心な学習環境の充実
- (3) 研修及び実践を通じた教職員の資質の向上
- (4) 関係機関等とのさらなる連携の強化
- (5) センター的機能の充実、発揮

4 本年度の具体的取り組み

(1) 「生きる力」に係る成長の保障

- ①将来の豊かな生き方の実現に向けた目標の設定及び達成度の確実かつ適切な評価
- ②生活に生きる力としての教科の目標の確認とそれに基づく課題解決型、体験的な学習の充実
- ③学習内容の効果的・効率的な習得、社会性の涵養に向けた、学習集団の柔軟な設定
- ④校内外で多様な人と多様な関わりをもつ学習機会の充実
- ⑤ICT 活用による指導効果の向上、「生きる力」に資する児童生徒の ICT 活用能力の向上
- ⑥個々の教育目標と関連付けたキャリア教育の実施及び児童生徒、保護者との目標の共有
- ⑦「個別の年間指導目標」、「年間指導計画」、「自立活動目標・指導シート」と連動した学習活動の展開

(2) 安全安心な学習環境の充実

- ①効果的な感染症防止対策の実施と学習機会の保障の両立
- ②安全な実施に係る医療的ケアの規程・体制等の確認とそれに基づいた検討及び推進
- ③児童生徒に係る緊急対応シミュレーションの実施、点検とそれに基づく見直し
- ④災害（地震・津波、火災）時の避難や不審者侵入対策の実効性向上に向けた改善

(3) 研修及び実践を通じた教職員の資質の向上

- ①肢体不自由教育、重度重複障害教育に関する専門性の向上
- ②効果的な指導、オンラインによる学習保障、業務の効率化のための ICT 活用スキルの向上
- ③業務を通しての協働性の醸成とチームとしての課題解決力の向上
- ④特別支援学校教員免許状の保有率の向上に係る理解啓発

(4) 関係機関等とのさらなる連携の強化

- ①居住地校交流や交流及び共同学習の推進
- ②災害時の相互支援等、沖縄中部療育医療センターとの連携の新たな可能性の検討
- ③高等部における「個別の移行支援計画」やその他の提供資料等を通しての地域社会への情報提供及び体験的活動の実践
- ④保護者会及び地域社会における児童生徒の「生きる力」の育成を図る活動の拡充
(地域で本校児童生徒が主体となり活動できる教育資源の確認・開発)

(5) センターの機能の充実、発揮

- ①支援の依頼に対し、ニーズに応じた支援の提供とともに、関係者の専門性の向上に努める。
- ②中頭地区における肢体不自由教育の中核校として、その推進に向け、地域における理解啓発と情報共有、及び支援者となる人材の資質向上に主体的に取り組む。

5 教育課程編成の基本方針

教育課程の編成にあたっては、教育目標が確実に達成されるよう、また、それに向けた教育活動が、組織的、継続的かつ効率的に行われるよう、下記の事項に留意する。

- (1) 学習指導要領及び教育関係法令、本県の教育施策等に基づいた教育課程を編成する。
- (2) 学習指導要領が示す「資質・能力の三つの柱」の調和の実現をめざし、児童生徒が可能な限り自立し社会参加する「生きる力」を育成する教育課程を編成する。
- (3) 準ずる教育課程、知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教育課程、自立活動を主とする教育課程を基本に児童生徒の実態を考慮し、弾力的に編成する。

- (4) 知的代替の教育課程については、児童生徒の発達段階に応じ、教科等の目標を着実に達成し、児童生徒の可能性を最大限に伸長するため、準ずる教育課程に最大限準拠して編成する。
- (5) 交流及び共同学習、居住地交流を教育課程に位置づけ編成する。
- (6) 保健・安全教育、図書教育を教育課程に位置づけ編成する。
- (7) 道徳は、全体計画を作成し時間における指導及び教育活動全体を通して展開する。
- (8) 各教科等の授業は、小・中学部年間 35 週（小学部 1 学年は 34 週）以上に行うよう、また高等部は年間 35 週を標準として計画する。週時数や年間総時数は、国及び県から示される通知に準じて確保する。
- (9) 1 単位時間については、小学部 45 分、中学部及び高等部は 50 分を標準とする。
- (10) 中学部、高等部の休み時間は、5 分とし、移動や休息の時間とする。排泄等については、生徒の発達段階に応じて定時に指導する。また、要求伝達の力の伸長を図るために、時・場所・場合（TPO）に応じて生徒自らの意思表示により対応する。
- (11) 訪問学級の時間数は、対象児童生徒一人につき、小・中学部週 3 回 6 時間、高等部週 4 回 8 時間を標準として教育課程を編成する。
- (12) 保護者の願い、職員構成、地域環境、学校施設・設備の状況を考慮した教育課程の編成に努める。
- (13) 児童生徒の実態に応じて、年度途中から別の指導形態への移行も考慮する。

6 小学部

(1) 小学部の教育目標

- ① 元気な児童
- ② 明るく思いやりのある児童
- ③ 身のまわりのことは自分でできる児童
- ④ 最後まで頑張る児童
- ⑤ 進んで学習する児童
- ⑥ 周りの人との関わりを広げ、気持ちや考えを表現できる児童

(2) 教育課程の編成方針

本校の教育目標及び本年度の重点目標が達成できるように、児童一人一人の個別の指導計画に基づき、中学部・高等部との連携を図り、調和のとれた教育課程を編成する。

- ① 本校の「教育課程の編成方針」に基づき、児童の実態に応じて弾力的に編成する。
- ② 児童の実態に応じて、Ⅰ課程(準ずる教育)、Ⅱ課程(知的代替)の教育課程を編成する。

ア Ⅰ課程(準ずる教育)

- ・小学校の当該学年に準じた教育目標及び内容を主として編成する。
- ・障害の状態や健康状態等により、基礎的・基本的事項が習得できるよう目標及び内容、学習活動を精選して編成する場合もある。

イ Ⅱ課程(知的代替)

- ・特別支援学校(知的障害)教育の教科等を代替して編成する。
- ・児童の実態や発達段階に応じて、自立活動の時数を適切に設定する。

(3) 各教科等の指導の重点(基本方針等)

【Ⅰ課程、訪問Ⅰ課程】

① 各教科

<国語>

- ・日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- ・日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ・言葉が持つよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

<社会>

- ・地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。
- ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握したりして、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- ・社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

<算数>

- ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
- ・日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表した

り目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。

- ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

<理科>

- ・自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。
- ・自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

<生活>

- ・活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- ・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
- ・身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

<音楽>

- ・曲想と音楽の構造などの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- ・音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。
- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

<図画工作>

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方など工夫して、創造的につくったり表したりすることができる。
- ・造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- ・つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

<家庭>

- ・家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- ・家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

<体育>

- ・活動内容の特性に応じた運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや知識・技能を身に付けるようにする。
- ・運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

<外国語>

- ・外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと、による実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したり

するとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、自主的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

② 道徳科

- ・障害による学習上又は生活上の困難を改善すると共に自己の障害理解を促し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養う。
- ・基本的な生活習慣の形成を図り、社会生活上のきまりを身に付ける。
- ・感謝と思いやりのある豊かな心を育てる。
- ・生命の尊さを知り自他の生命力を尊重する心を育てる。
- ・自然を愛し、美しいものや崇高なものに感動する心を育てる。

③ 外国語活動

- ・外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- ・身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- ・外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

④ 総合的な学習の時間

- ・探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解できるようにする。
- ・実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析した上でまとめや表現することができるようにする。
- ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

⑤ 特別活動

- ・個々の児童の障害の状態や経験等に応じて、具体的に指導する。
- ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要なことについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- ・集団や自己の生活の中で人間関係の課題を見いだし、解決するために必要な話し合いや合意形成を図ったり意思決定したりすることができるようにする。
- ・自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑥ 自立活動

- ・児童一人一人の障害の状態や発達段階を的確に把握し、自立と社会参加を目指して、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする知識・技能・態度及び習慣等を育てる。
- ・肢体不自由の障害の定義や状態を受け、全課程において上肢・下肢・平衡反応・目と手の協応動作・四肢体幹など、身体の動きについての改善を図る。
- ・健康の保持・増進を図り、保有する感覚を活用できるようにする。
- ・児童の実態に応じた補助具や情報機器など、補助的手段の工夫及び有効活用を図ることで、身体の動きやコミュニケーション能力などの育成を図る。

【Ⅱ課程、訪問Ⅱ課程】

① 各教科

<生活>

- ・活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- ・自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。
- ・自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。

<国語>

- ・日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。
- ・日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。
- ・言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。

<算数>

- ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。
- ・日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。
- ・数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。

<音楽>

- ・曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。
- ・感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。
- ・音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

<図画工作>

- ・形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫して行うことができるようにする。
- ・造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ・つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

<体育>

- ・遊びや基本的な運動の行い方及び身近な生活における健康について知るとともに、基本的な動きや健康な生活に必要な事柄を身に付けるようにする。
- ・遊びや基本的な運動及び健康についての自分の課題に気付き、その解決に向けて自ら考え行動し、他者に伝える力を養う。
- ・遊びや基本的な運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

② 道徳科

- ・障害による学習上、又は生活上の困難を改善し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養う。
- ・基本的な生活習慣の形成を図り、社会生活上のきまりを身に付ける。
- ・感謝と思いやりのある豊かな心を育てる。
- ・生命の尊さを知り自他の生命力を尊重する心を育てる。
- ・自然を愛し、美しいものや崇高なものに感動する心を育てる。

③ 外国語活動

- ・外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。
- ・身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。
- ・外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

④ 特別活動

- ・個々の児童の障害の状態や経験等に応じて、具体的に指導する。
- ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要なことについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- ・集団や自己の生活の中で人間関係の課題を見だし、解決するために必要な話し合いや合意形成を図ったり意思決定したりすることができるようにする。
- ・自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑤ 自立活動

- ・児童一人一人の障害の状態や発達段階を的確に把握し、自立と社会参加を目指して、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする知識・技能・態度及び習慣等を育てる。
- ・肢体不自由の障害の定義や状態を受け、全課程において上肢・下肢・平衡反応・目と手の協応動作・四肢体幹など、身体の動きについての改善を図る。
- ・健康の保持・増進を図り、保有する感覚を活用できるようにする。
- ・児童の実態に応じた補助具や情報機器など、補助的手段の工夫及び有効活用を図ることで、身体の動きやコミュニケーション能力などの育成を図る。

(4) 授業日数及び授業時数の配当

① 授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 年	15	20	21	13	0	20	21	20	17	17	19	15	198
2 年	16	20	21	13	0	20	21	20	17	17	19	15	199
3 年	16	20	21	13	0	20	21	20	17	17	19	15	199
4 年	16	20	21	13	0	20	21	20	17	17	19	15	199
5 年	16	20	21	13	0	20	21	20	17	17	19	15	199
6 年	16	20	21	13	0	20	21	20	17	17	19	11	195
備考	4 月：1 年生は入学のため 1 日少ない。 3 月：6 年生は卒業が早いため 4 日少ない。												

訪問教育授業日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 年	9	11	13	8	0	12	12	14	9	10	12	8	118
2 年	9	11	13	8	0	12	12	14	9	10	12	8	118
3 年	9	11	13	8	0	12	12	14	9	10	12	8	118
4 年	9	11	13	8	0	12	12	14	9	10	12	8	118
5 年	9	11	13	8	0	12	12	14	9	10	12	8	118
6 年	9	11	13	8	0	12	12	14	9	10	12	7	117
備考	3 月：6 年生は卒業が早いため 1 日少ない。												

② 授業時数表

I 課程（小学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

教科等		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		備考
各教科	国語	306	9	315	9	245	7	245	7	175	5	175	5	
	社会					70	2	105	3	105	3	105	3	
	算数	204	6	210	6	210	6	210	6	210	6	210	6	
	理科					105	3	105	3	105	3	105	3	
	生活	68	2	105	3									
	音楽	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
	図画工作	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	52.5	1.5	
	家庭									35	1	52.5	1.5	
	体育	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	保健を含む
	外国語									70	2	70	2	
小計		714	21	770	22	770	22	805	23	840	24	840	24	
道徳科		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
外国語活動						35	1	35	1	0		0		
総合的な学習の時間						35	1	35	1	35	1	35	1	
特別活動		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
自立活動		68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	
合計		850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29	

訪問教育 I 課程（小学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成）

教科等		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		備考
各教科	国語	68	2	70	2	45.5	1.3	45.5	1.3	45.5	1.3	31.5	0.9	
	社会					14	0.4	14	0.4	14	0.4	17.5	0.5	
	算数	44.2	1.3	45.5	1.3	38.5	1.1	38.5	1.1	38.5	1.1	38.5	1.1	
	理科					14	0.4	14	0.4	14	0.4	17.5	0.5	
	生活	17	0.5	17.5	0.5									
	音楽	6.8	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	
	図画工作	13.6	0.4	14	0.4	14	0.4	14	0.4	14	0.4	10.5	0.3	
	家庭									0		10.5	0.3	
	体育	6.8	0.2	7	0.2	14	0.4	14	0.4	14	0.4	7	0.2	保健を含む
	外国語									0		14	0.4	
小計		156.4	4.6	161	4.6	147	4.2	147	4.2	147	4.2	154	4.4	
道徳科		6.8	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	
外国語活動						7	0.2	7	0.2	7	0.2	0		
総合的な学習の時間						7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	
特別活動		6.8	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	
自立活動		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
合計		204	6	210	6	210	6	210	6	210	6	210	6	

Ⅱ課程（知的特別支援学校小学部の教育課程で編成）

教科等		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		備考
各教科	生活	102	3	105	3	105	3	140	4	140	4	140	4	
	国語	238	7	245	7	245	7	210	6	210	6	210	6	
	算数	136	4	175	5	210	6	245	7	245	7	245	7	
	音楽	34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
	図画工作	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	
	体育	68	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	保健を含む
計		646	19	700	20	735	21	770	22	770	22	770	22	
道徳科		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
外国語活動						35	1	35	1	35	1	35	1	
特別活動		34	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	
自立活動		136	4	140	4	140	4	140	4	140	4	140	4	
計		204	6	210	6	245	7	245	7	245	7	245	7	
合計		850	25	910	26	980	28	1015	29	1015	29	1015	29	

訪問教育Ⅱ課程（知的特別支援学校小学部の教育課程を弾力的に編成）

教科等		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		備考
各教科	生活	10.2	0.3	10.5	0	10.5	0.3	10.5	0.3	10.5	0.3	10.5	0.3	
	国語	51	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	
	算数	51	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	
	音楽	6.8	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	
	図画工作	13.6	0.4	14	0.4	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	
	体育	6.8	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	保健を含む
計		139.4	4.1	143.5	4.1	136.5	3.9	136.5	3.9	136.5	3.9	136.5	3.9	
道徳科		6.8	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	
外国語活動						7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	
特別活動		6.8	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	7	0.2	
自立活動		51	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	52.5	1.5	
計		64.6	1.9	66.5	1.9	73.5	2.1	73.5	2.1	73.5	2.1	73.5	2.1	
合計		204	6	210	6	210	6	210	6	210	6	210	6	

使用教科書一覧

小学部

(1) I 課程 (一般教育課程)

①教科用図書 (小)

種目名		発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用 学年
		番号	略称			
国語			光村	国語・307	国語三	3
				国語・407	国語四	4
書写			光村	書写・304	書写三	3
				書写・404	書写四	4
社会			教出	社会・303	小学社会 3	3
				社会・403	小学社会 4	4
地図			帝国	地図・302	楽しく学ぶ小学生の地図帳	3
					〃	4
算数			学図	算数・304	みんなと学ぶ小学校算数 3	3
				算数・404	みんなと学ぶ小学校算数 4	4
理科			東書	理科・301	新しい理科 3	3
				理科・401	新しい理科 4	4
音楽			教芸	音楽・302	小学生の音楽 3	3
				音楽・402	小学生の音楽 4	4
図画 工作			日文	図画工作・303	ためしたよ 見つけたよ図画工作	3
					〃	4
保健			光文	保健・304	小学ほけん 3・4 年	3
					〃	4
道徳			光文	道徳・308	小学どうとく (ゆたかな心) 3 年	3
					小学どうとく (ゆたかな心) 4 年	4

②準教科書、副読本

種目名		発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用 学年
		番号	略称			
外国語活動					Let's Try	3
					〃	4
社会					わたしたちの沖縄市	3
					〃	4

(2) II 課程 (知的教育課程)

①教科用図書 (聴・知)

種目名		発行者		教科用図書の 記号・番号	教科書名	使用学 年
		番号	略称			
算数			教出	算数・C-122	さんすう☆☆ (1)	
算数			教出	算数・C-123	さんすう☆☆ (2)	
国語			東書	国語・C-123	こくご☆☆☆	
国語			東書	国語・C-121	こくご☆	

②準教科書、副読本

種目名		発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用 学年
		番号	略称			
外国語活動					Let's Try	3～6

③教科用図書（一般・特別）

県コード	種目	発行者コード	発行者	図書コード	図書名
101	国語	06-1	偕成社	T01	エリック・カールの絵本 はらぺこあおむし
104	国語	10-1	講談社	687	りんごがコロコロ コロリンコ
109	国語	20-5	同成社	A01	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」1（改訂版）（ひらがなのことば・文・文章の読み）
115	国語	27-3	ひさかた	643	おーい かばくん
116	国語	28-3	ブロンズ新	537	だるまさんが
117	国語	28-3	ブロンズ新	538	だるまさんの
118	国語	28-6	文研出版	B05	みるみる絵本 もこもこもこ
129	社会	06-2	学研	C03	はっけんずかん のりもの 改訂版
174	図工美術	28-3	ブロンズ新	556	らくがき絵本五味太郎50%
178	図工美術	66-11	大日本図書	508	いろいろバス
183	体育	06-1	偕成社	T07	エリック・カールの絵本 できるかな？ ーあたまからつまさきまでー
195	体育	28-1	福音館	543	0. 1. 2. えほん ペンギンたいそう
208	職業家庭	12-2	小学館	634	（家）きむらゆういちのバッチン絵本 おいしいな！
138	算数数学	06-1	偕成社	A02	エリック・カールかずのほん 1, 2, 3 どうぶつえんへ
142	算数数学	20-5	同成社	C02	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」2 （1対1対応、1～5の数、5までのたし算）
148	算数数学	27-3	ひさかた	C05	スキンシップ絵本 かずのえほん
151	理科	27-1	ひかりのく	I01	改訂新版体験を広げるこどものずかん1 どうぶつえん
153	理科	55-21	沖縄時事	503	新理科資料 おきなわの理科3年
159	音楽	14-4	成美堂出版	550	音と光のでる絵本 いっぱいスイッチ
160	音楽	51-6	朝日新聞	523	たいこであそぼ おもしろドラム
164	音楽	79-6	ベネッセ	571	たまひよ楽器あそび絵本 すてきなピアノえほんDX
165	音楽	82-3	三起商行	508	ポカポカフレンズのおんがくえほん もっきん
167	図工美術	06-2	学研	O01	あそびのおうさまBOOK んって
168	図工美術	06-2	学研	O02	あそびのおうさまBOOK はって
219	職業家庭	76-4	白泉社	527	（家）たべものやさん しりとりたいかい かいさいします
222	英語	12-2	小学館	811	タッチペンで音が聞ける！ドラえもんはじめての英会話辞典
224	英語	51-6	朝日新聞	511	あいうえおABCタブレット 音でる♪知育絵本
230	英語	79-6	ベネッセ	591	しまじろうの えいごの うた
235	道徳	06-1	偕成社	617	フランソワーズのえほん ありがとうのえほん
240	道徳	71-1	永岡書店	554	ポップアップ絵本 カラーモンスター きもち はなにいろ？

中学部

(1) 中学部の教育目標

- ① 自分の身体について知り、健康に気をつけることのできる生徒
- ② 生活体験の幅を広げ、豊かにするとともに、将来について考えることのできる生徒
- ③ 友達を大切にし、協力し合う生徒
- ④ 人との関わりを広げ、気持ちや考えを表現できる生徒
- ⑤ 興味関心の幅を広げ、ねばり強く学習できる生徒
- ⑥ 豊かに学校生活を送ることができる生徒

(2) 教育課程の編成方針

本校の教育目標及び本年度の重点目標が達成できるように、生徒一人一人の個別の指導計画に基づき、小学部・高等部との連携を図り調和のとれた教育課程を編成する。

- ① 本校の「教育課程編成の基本方針」に基づき、生徒の実態に応じて弾力的に編成する。
- ② 生徒の実態に応じてⅠ課程（準ずる課程）、Ⅱ課程（知的代替）の教育課程を編成する。

ア Ⅰ課程（準ずる課程）

- ・当該学年に準じた教育内容を主として編成する。
- ・障害の状態や健康状態等により、基礎的・基本的事項が習得できるよう目標及び内容、学習活動を精選して編成する場合もある。

イ Ⅱ課程（知的代替）

- ・特別支援学校（知的障害）教育の教科を代替して編成する。
- ・生徒の実態に応じて、自立活動の時数を適切に設定する。

(3) 各教科等の指導の重点

【Ⅰ課程、訪問Ⅰ課程】

①各教科

＜国語＞

- ・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

＜社会＞

- ・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

<数学>

- ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数
学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるよう
にする。
- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・
発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそう
とする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

<理科>

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験など
に関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

<音楽>

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、
創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるよう
にする。
- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽
に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

<美術>

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、
創造的に表すことができるようにする。
- ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み
出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする
ことができるようにする。
- ・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな
生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

<保健体育>

- ・各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解する
とともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断する
とともに、他者に伝える力を養う。
- ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく
豊かな生活を営む態度を養う。

<技術・家庭>

- ・生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける
ようにする。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・
改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする
実践的な態度を養う。

<外国語(英語)>

- ・ 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- ・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- ・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

③ 道徳科

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

③ 特別活動

- ・ 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- ・ 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- ・ 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

④ 自立活動

- ・ 健康の保持増進を図り、保有する感覚を活用できるようにする。
- ・ 生徒一人一人の障害の状態や発達段階を的確に把握し、自立を目指して障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする知識・技能・態度を育てる。
- ・ 自己選択・自己決定する機会を設けることによつて、思考・判断・表現する力を養う。
- ・ 生徒の身体の動きや意思の表出の状況に応じて適切な補助用具や情報機器等の補助的手段を工夫し有効な活用を図る。

⑤ 総合的な学習の時間

- ・ 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- ・ 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- ・ 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

【Ⅱ課程、訪問Ⅱ課程】

① 各教科

<国語>

- ・ 日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- ・ 日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ・ 言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う

<社会>

- ・ 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したものと関連付けて、調べまとめる技能に付けるようにする。
- ・ 社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- ・ 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。

<数学>

- ・ 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
- ・ 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭的確に表現する力を養う。
- ・ 数学的活動の楽しさや数学の良さに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

<理科>

- ・ 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。
- ・ 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。
- ・ 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。

<音楽>

- ・ 曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- ・ 音楽表現を考えることや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。
- ・ 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

<美術>

- ・ 造形的な視点について理解し、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。
- ・ 造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや材料などを基に、発想し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深めることができるようにする。
- ・ 創造活動の喜びを味わい、美術を愛する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養い、豊かな情操を培う。

<保健体育>

- ・ 各種の運動の特性に応じた技能等及び自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・ 各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見付け、その解決に向けて自ら思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・ 生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

<職業・家庭>

- ・生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。
- ・将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。
- ・よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

<外国語(英語)>

- ・外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- ・身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- ・外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

② 道徳科

- ・障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服して、強く生きようとする意欲を高めることにより、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。
- ・経験の拡充を図ることによって、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳性が養われるようにする。
- ・生徒の状態、生活年齢、学習状況及び経験等に応じて指導の重点を定め、指導内容を具体化し、体験的な活動を取り入れる。

③ 特別活動

- ・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
- ・集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
- ・人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。
- ・集団活動を通して、中学校の生徒などと交流及び共同学習を行ったり、地域の人々などと活動を共にしたりする機会を設け、積極的な態度、社会性、豊かな人間性を育む。
- ・個々の生徒の障害の状態や経験等に応じて、具体的に指導する。

④ 自立活動

- ・健康の保持増進を図り、保有する感覚を活用できるようにする。
- ・生徒一人一人の障害の状態や発達段階を的確に把握し、自立を目指して障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする知識・技能・態度を育てる
- ・自己選択・自己決定する機会を設けることによつて、思考・判断・表現する力を養う。
- ・生徒の身体の動きや意思の表出の状況に応じて適切な補助用具や情報機器等の補助的手段を工夫し有効な活用を図る。

⑥ 総合的な学習の時間

- ・自ら考え、自信をもって自主的・自律的に学習に参加する力を高める。
- ・学び方やものの考え方について、友達同士認め合い、協同・協力する力や関わる力を高める。
- ・今と将来の自分について、生徒が自らの願いや思いを具体的に考え、表現する力を高める。

⑥ 各教科等を合わせた指導

＜日常生活の指導＞

- ・ 基本的生活習慣や、集団生活をする上で必要で基本的な行動の仕方を身につけるようにする。
- ・ 日常生活をより自主的に取り組む意欲・態度を育てる。

＜生活単元学習＞

- ・ 生活に必要な知識、技能を身につけるとともに、生活上の望ましい習慣・態度の形成を図る。
- ・ 生活上の課題に関心を持ち、主体的に取り組む態度を育てる。

＜職業・家庭＞

- ・ 働くことの意義を理解し、作業や実習に取り組み、働く喜びを味わうようにする。
- ・ 職業生活に必要な健康管理や余暇の有効な過ごし方が分かるようにする。

様式5 中学部 (I) 課程

① 授業時数表

I 課程（中学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

教科等			1 年		2 年		3 年		備考
各教科	国語		140	4	140	4	105	3	
	社会		105	3	105	3	140	4	
	数学		140	4	105	3	140	4	
	理科		105	3	140	4	140	4	
	音楽		35	1	35	1	35	1	
	美術		35	1	35	1	35	1	
	保健体育		70	2	70	2	70	2	保健を含む
	技術・家庭	技術分野	35	1	35	1	17.5	0.5	
		家庭分野	35	1	35	1	17.5	0.5	
	外国語		140	4	140	4	140	4	
	選択教科		0		0		0		
		0		0		0			
		0		0		0			
小計			840	24	840	24	840	24	
道徳科			35	1	35	1	35	1	
総合的な学習の時間			35	1	35	1	35	1	
特別活動			35	1	35	1	35	1	
自立活動			70	2	70	2	70	2	
計			175	5	175	5	175	5	
合計			1015	29	1015	29	1015	29	

様式5 中学部 (訪問 I) 課程

① 授業時数表

訪問教育 I 課程（中学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成）

教科等			1 年		2 年		3 年		備考
各教科	国語		28	0.8	28	0.8	21	0.6	
	社会		21	0.6	21	0.6	28	0.8	
	数学		28	0.8	21	0.6	28	0.8	
	理科		21	0.6	28	0.8	28	0.8	
	音楽		7	0.2	7	0.2	7	0.2	
	美術		7	0.2	7	0.2	7	0.2	
	保健体育		14	0.4	14	0.4	14	0.4	保健を含む
	技術・家庭	技術分野	7	0.2	7	0.2	3.5	0.1	
		家庭分野	7	0.2	7	0.2	3.5	0.1	
	外国語		28	0.8	28	0.8	28	0.8	
選択教科		0		0		0			
		0		0		0			
		0		0		0			
小計			168	4.8	168	4.8	168	4.8	
道徳科			7	0.2	7	0.2	7	0.2	
総合的な学習の時間			7	0.2	7	0.2	7	0.2	
特別活動			7	0.2	7	0.2	7	0.2	
自立活動			21	0.6	21	0.6	21	0.6	
計			42	1.2	42	1.2	42	1.2	
合計			210	6	210	6	210	6	

① 授業日数表

② 訪問教育授業日数表[illegible]

様式5 中学部 (I) 課程

① 授業時数表

I 課程（中学校の教育課程に自立活動を加えて編成）

教科等			1 年		2 年		3 年		備考
各教科	国語		140	4	140	4	105	3	
	社会		105	3	105	3	140	4	
	数学		140	4	105	3	140	4	
	理科		105	3	140	4	140	4	
	音楽		35	1	35	1	35	1	
	美術		35	1	35	1	35	1	
	保健体育		70	2	70	2	70	2	保健を含む
	技術・家庭	技術分野	35	1	35	1	17.5	0.5	
		家庭分野	35	1	35	1	17.5	0.5	
	外国語		140	4	140	4	140	4	
	選択教科		0		0		0		
		0		0		0			
		0		0		0			
小計			840	24	840	24	840	24	
道徳科			35	1	35	1	35	1	
総合的な学習の時間			35	1	35	1	35	1	
特別活動			35	1	35	1	35	1	
自立活動			70	2	70	2	70	2	
計			175	5	175	5	175	5	
合計			1015	29	1015	29	1015	29	

様式5 中学部 （訪問 I）課程

① 授業時数表

訪問教育 I 課程（中学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成）

教科等			1 年		2 年		3 年		備考
各教科	国語		28	0.8	28	0.8	21	0.6	
	社会		21	0.6	21	0.6	28	0.8	
	数学		28	0.8	21	0.6	28	0.8	
	理科		21	0.6	28	0.8	28	0.8	
	音楽		7	0.2	7	0.2	7	0.2	
	美術		7	0.2	7	0.2	7	0.2	
	保健体育		14	0.4	14	0.4	14	0.4	保健を含む
	技術・家庭	技術分野	7	0.2	7	0.2	3.5	0.1	
		家庭分野	7	0.2	7	0.2	3.5	0.1	
	外国語		28	0.8	28	0.8	28	0.8	
選択教科		0		0		0			
		0		0		0			
		0		0		0			
小計			168	4.8	168	4.8	168	4.8	
道徳科			7	0.2	7	0.2	7	0.2	
総合的な学習の時間			7	0.2	7	0.2	7	0.2	
特別活動			7	0.2	7	0.2	7	0.2	
自立活動			21	0.6	21	0.6	21	0.6	
計			42	1.2	42	1.2	42	1.2	
合計			210	6	210	6	210	6	

様式5 中学部 (Ⅱ) 課程

② 授業時数表

Ⅱ課程（知的特別支援学校中学部の教育課程で編成）

教科等			1 年		2 年		3 年		備考
各教科	国語		105	3	105	3	105	3	
	社会		70	2	70	2	70	2	
	数学		105	3	105	3	105	3	
	理科		70	2	70	2	70	2	
	音楽		70	2	70	2	70	2	
	美術		70	2	70	2	70	2	
	保健体育		70	2	70	2	70	2	保健を含む
	職業・家庭	職業分野	70	2	70	2	70	2	
		家庭分野	70	2	70	2	70	2	
	外国語		35	1	35	1	35	1	
	選択教科		0		0		0		
		0		0		0			
		0		0		0			
小計		735	21	735	21	735	21		
道徳科		35	1	35	1	35	1		
総合的な学習の時間		35	1	35	1	35	1		
特別活動		35	1	35	1	35	1		
自立活動		175	5	175	5	175	5		
計		280	8	280	8	280	8		
合計		1015	29	1015	29	1015	29		

様式5 中学部 (訪問Ⅱ) 課程

② 授業時数表

訪問教育Ⅱ課程（知的障害中学部の教育課程を弾力的に編成）

教科等			1 年		2 年		3 年		備考
各教科	国語		21	0.6	21	0.6	21	0.6	
	社会		14	0.4	14	0.4	14	0.4	
	数学		21	0.6	21	0.6	21	0.6	
	理科		14	0.4	14	0.4	14	0.4	
	音楽		14	0.4	14	0.4	14	0.4	
	美術		14	0.4	14	0.4	14	0.4	
	保健体育		14	0.4	14	0.4	14	0.4	保健を含む
	職業・家庭	職業分野	14	0.4	7	0.4	7	0.4	
		家庭分野							
	外国語		7	0.2	7	0.2	7	0.2	
	選択教科		0		0		0		
		0		0		0			
		0		0		0			
小計		133	3.8	126	3.8	126	3.8		
道徳科		7	0.2	7	0.2	7	0.2		
総合的な学習の時間		7	0.2	7	0.2	7	0.2		
特別活動		7	0.2	7	0.2	7	0.2		
自立活動		35	1	35	1	35	1		
計		56	1.6	56	1.6	56	1.6		
合計		189	6	182	6	182	6		

使用教科書一覧

(1)教科書

中学部

I 課程（準ずる課程）

種目	発行者の		教科書名 (シリーズ)
	番号	略称	
国語	015	三省堂	現代の国語
書写	002	東書	新しい書写
地理	046	帝国	社会科 中学生の地理
歴史	046	帝国	社会科 中学生の歴史
公民	046	帝国	社会科 中学生の公民
地図	046	帝国	中学校社会科地図
数学	002	東書	新しい数学
理科	002	東書	新しい科学
音楽	027	教芸	中学生の音楽
器楽	027	教芸	中学生の器楽
美術	038	光村	美術
保体	002	東書	新しい保健体育
技術	002	東書	新しい技術・家庭 技術分野
家庭	002	東書	新しい技術・家庭 家庭分野
英語	038	光村	Here We Go! ENGLISH COURSE
道徳	116	日文	中学道徳 あすを生きる

(1)教科書

種目	発行者	図書 コード	図書名	種目	発行者	図書 コード	図書名
国語	講談社	687	りんごがコロコロ コロリンコ	算数・数学	偕成社	A02	エリック・カールかずのほん 1, 2, 3どうぶつえんへ
国語	戸田デザイ	003	あいうえおえほん	算数・数学	同成社	C03	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3 (6 ～9のたし算、ひき算、位取り)
国語	同成社	B01	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編1 (改訂版) (表象形成・音韻形成・発声・発 音)	算数・数学	ひさかた	C05	スキンシップ絵本 かずのえほ ん
国語	ひさかた	643	おーい かばくん	理科	小学館	797	小学館の図鑑NEO[新版]科 学の実験DVDつき
国語	ブロンズ新	537	だるまさんが	音楽	成美堂出版	550	音と光のでる絵本 いっぱいス イッチ
国語	ブロンズ新	538	だるまさんの	音楽	朝日新聞	523	たいこであそぼ おもしろドラ ム
社会	ひかりのく	003	マナーやルールがどんどんわかる！新装 改訂版 みぢかなマーク	音楽	新星出版社	513	頭のいい子が育つクラシックの 名曲45選
図工・美術	学研	002	あそびのおうさまBOOK はっ て	音楽	三起商行	508	ポカポカフレンズのおながくえ ほん もっくん
図工・美術	大日本図書	508	いろいろバス	英語	小学館	811	タッチペンで音が聞ける！ドラ えもんはじめての英会話辞典
体育	福音館	543	0. 1. 2. えほん ペんぎんた いそう	英語	コスミック出版	524	えいごにほんご どうようえほ ん
体育	木楽舎	501	ダンスアース	英語	ベネッセ	591	しまじろうの えいごの うた
体育	少年写真新	507	ドキドキワクワク性教育〈2〉 大切なからだ・こころ	道徳	偕成社	D01	ノタンあそぼうよ(1) ノンタ ンぶらんこのせて
職業・家庭	開隆堂出版	001	(職)職業・家庭たのしい職業 科 わたしの夢につながる	道徳	偕成社	617	フランソワーズのえほん あり がとうのえほん
職業・家庭	開隆堂出版	002	(家)職業・家庭たのしい家庭 科 わたしのくらしに生かす	道徳	永岡書店	554	ポップアップ絵本 カラーモン スター きもちはなにいろ？
職業・家庭	小学館	634	(家)きむらゆういちのパッチン 絵本 おいしいな！	道徳	日本図書	536	おやくそくえほん はじめての 「よのなかルールブック」

10 高等部

(1) 高等部の教育目標

- ① 規則正しい生活習慣の確立と健康管理に努める生徒
- ② 自分の能力・適性を把握し、進路選択のできる生徒
- ③ 様々な人と関わり、よりよい人間関係を築くことができる生徒
- ④ 自らの趣味を深め、余暇を有意義に活用できる生徒
- ⑤ 自ら学び、学力の向上に努める生徒
- ⑥ 地域の活動に関心を持ち、自ら社会参加に努める生徒

(2) 教育課程の編成方針

本校の教育目標及び本年度の重点目標が達成できるように、個別の指導計画に基づき、小学部・中学部との連携を図り、調和のとれた教育課程を編成する。

① 生徒の実態に応じて、合理的配慮を行い弾力的に編成する。

② 生徒の実態に応じてⅠ課程、Ⅱ課程の教育課程を編成する。

ア Ⅰ課程（準ずる教育）

- ・高等学校の当該学年に準じた教育内容を主として編成する。
- ・障害の状態により、当該学年の学習が困難な生徒は、下学年の指導内容を代替して編成する。

イ Ⅱ課程（知的代替）

- ・特別支援学校（知的障害）教育の教科を代替する。生徒の実態に応じて、教科別、各教科等を合わせた指導で編成する。
- ・生徒の実態や発達段階に応じて、自立活動の時数を適切に設定する。

(3) 各教科等の指導の重点

【Ⅰ課程、訪問Ⅰ課程】

① 各教科

<国語>

- ・生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- ・生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- ・言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

<地理・歴史>

- ・現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ・地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ・地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める

<公民>

- ・選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ

まとめる技能を身に付けるようにする。

- ・現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される人間としての在り方生き方についての自覚を深める。
- ・国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

<数学>

- ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

<理科>

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

<保健体育>

- ・各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、自己の身体の動きの状態に応じた技能を身に付けるようにする。
- ・運動や健康・安全について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ・生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の維持向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

<芸術（音楽）>

- ・音楽に関する幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、表現意図を音楽で表すために必要な技能を身に付けるようにする。
- ・音楽に関する知識や技能を総合的に働かせ、音楽の表現内容を解釈したり音楽の文化的価値などについて知り、表現意図を明確にもったり、音楽や演奏の価値を見いだして鑑賞したりすることができるようにする。
- ・主体的に音楽に関する学習に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

<芸術（美術）>

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- ・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むと共に、感性を高め、美術文化に親しみ、心情豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

<外国語（英語）>

- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

<家庭>

- ・被服、食物、住居、保育などに関する実習を通して、実践的な知識と技術の習得を図る。
- ・家族がそれぞれの役割を果たしていることを理解し、楽しい家庭づくりのための自分の役割を果たすための態度を育てる。
- ・家庭生活を営む上で必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。

<情報>

- ・効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
- ・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- ・情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

② 道徳

- ・社会の中の一員として、人間としての生き方についての自覚を高め、主体的に生きる生活態度を養う。
- ・社会経験を通して、広い視野に立ち、道徳的判断力や実践力を高める。

③ 総合的な探究の時間

- ・探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- ・実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- ・探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。日常生活や学校・地域など身近な生活の中から課題を見つけ判断し、解決する資質や能力を育てる。

④ 特別活動

- ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要なことについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- ・集団や自己の生活の中で人間関係の課題を見だし、解決するために必要な話し合いや合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- ・自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方

生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑤ 自立活動

- ・生徒一人一人の障害の状態や発達段階を的確に把握し、自立と社会参加を目指して、障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服する知識、技能、態度及び習慣を養う。
- ・健康の保持増進を図り、保有する感覚を活用できるようにする。
- ・自己選択・自己決定する機会を設けることによって、思考・判断・表現する力を高める。
- ・生徒の身体の動きや意志の表出の状態等に応じて、適切な補助用具や支援機器等の補助的手段を活用し、社会生活に活かせるよう定着を図る。

【Ⅱ課程、訪問Ⅱ課程】

① 各教科

＜国語＞

- ・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- ・言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。

＜社会＞

- ・地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について知り、身近な活動と関連付けて調べまわることができるようにする。
- ・社会的事象について、自分の生活と結びつけて具体的に考え、社会の関わりの中で選択・判断したことを適切に表現する自覚を養う。
- ・社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。

＜数学＞

- ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
- ・日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- ・数学的活動の楽しさやよさに気付き、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

＜理科＞

- ・自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。
- ・自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。

＜音楽＞

- ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

- ・音楽表現を考えることや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

<美術>

- ・造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- ・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

<保健体育>

- ・各種の運動の楽しさや喜びに触れ、自分の生活における健康・安全について学び、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫する力を養う。
- ・各種の運動に自主的に取り組み、生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進と体力の維持向上を目指し明るく豊かな生活を営む態度を養う。

<職業>

- ・職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。
- ・将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。
- ・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。

<家庭>

- ・衣食住などに関する知識と技術の総合的な習得を図る。
- ・家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、考えたことを表現するなど課題を解決する力を養う。
- ・家族の一員として、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

<外国語（英語）>

- ・外国語の音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

<情報>

- ・身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。
- ・身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

- ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。

② 道徳科

- ・社会の中の一員として、感謝と思いやりの心を育てる。
- ・自分で決めたことに意欲的に取り組み、主体的に生きる態度を育てる。

③ 総合的な探究の時間

- ・日常生活や学校・地域など身近な生活の中から課題を見つけ判断し、解決する資質や能力を育てる。
- ・学び方や考え方を身につけ、問題解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育てる。
- ・なりたい自分と、なれる自分を自覚し、自己の生き方を考えることができるようにする。

④ 特別活動

- ・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
- ・高等学校の生徒などと交流及び共同学習を行ったり、地域の人々などと活動を共にしたりする集団活動を通して経験を広め、自己実現や社会参画のための課題を見いだし、解決に向かって取り組むことができるようにする。
- ・人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

⑤ 自立活動

- ・生徒一人一人の障害の状態や発達段階を的確に把握し、自立と社会参加を目指して、障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服する知識、技能、態度及び習慣を養う。
- ・健康の保持増進を図り、保有する感覚を活用できるようにする。
- ・自己選択、自己決定する機会を設けることによって、思考・判断・表現する力を高める。
- ・生徒の身体の動きや意志の表出の状態等に応じて、適切な補助用具や支援機器等の補助的手段を活用し、社会生活に活かせるよう定着を図る。

① 授業日数表

[illegible][illegible]

様式7 高等部普通科 (I) 課程

① 教育課程表 (令和3年度入学者)

I 課程 (高等学校の教育課程に自立活動を加えて編成)

→ は、次年度指定した科目を履修するということ。

..... は、選択した科目を2年間継続履修するということ。

教科	科目	標準 単位数	共通	文系		理系		備考
			1学年	2学年	3学年	2学年	3学年	
国語	国語総合★	4	4					※1 太線部はセット履修。 「現代文A」と「古典A」を選択する場合は、3年次で「国語表現」を履修する。 ※2 「現代文B」と「古典B」を選択する場合は、2年間継続して履修する。
	国語表現	3			4			
	現代文A	2		3 ※1				
	古典A	2		2				
	現代文B	4		3 ※2	各科目2	2	2	
	古典B	4		2		2	2	
地理歴史	世界史A	2				2		※3 「世界史A」を選択する場合は※4で「日本史B」か「地理B」を選択する。 ※4 3科目から1つ選択し、2年間で継続して履修する。 ※5 「日本史B」または「地理B」を選択する場合は2年間で継続履修。 ※6 「日本史B」または「地理B」を選択しない場合は3年で必ず「日本史A」または「地理A」を選択する。
	日本史A	4		2			②	
	地理A	2		※3			※6	
	世界史B	4		-----	-----			
	日本史B	2		2-----	2	②-	②	
	地理B	4		※4-----	-----	※5-----	※5	
公民	現代社会☆	2	2					1学年で現代社会を履修
	倫理	2			2			
	政治・経済	2						
数学	数学I★	3	3	※7 3				※7 必要がある場合は2年次で継続履修し、6単位とする。
	数学II	4			④	4		
	数学III	5					6	
	数学A	2			②	2		
	数学B	2			②		2	
	数学基礎セミナー	学設			②			
理科	地学基礎◇	2		2	②	2		
	物理基礎◇	2						
	生物	4			④	②-	②	
	化学	4				※8-----	-----	
	地学	4					④	
	物理	4						
保健体育	体育★	7～8	2	2	3	2	3	
	保健★	2	1	1		1		
芸術	音楽I☆	2	2	2			②	・各Iの科目を履修後、同じIIの科目を履修することができる。 ・必要があれば、Iを2(3)年次で継続履修し、4単位とする。
	音楽II	2						
	美術I	2			②			
	美術II	2						
外国語	コミュニケーション英語I★	3	3	2 ※9				太線部はセットで履修。 ※9 必要がある場合は継続履修する。
	コミュニケーション英語II	4		4		4		
	コミュニケーション英語III	4						
	英語表現I	2			4		4	
	英語会話	2		2	※9			
家庭	家庭総合☆	4	2	2		2		
情報	社会と情報☆	2	2					
	情報探究	学設			②		②	
教科・科目計			25	25	25	25	25	
特別活動	HR活動		1	1	1	1	1	
	自立活動		2	2	2	2	2	
	総合的な探究の時間	3～6	2	2	2	2	②	
単位数合計			30	30	30	30	30	

★は、必修科目

☆は、本校で指定した必修科目

◇は、いずれか1科目選択の必修科目

※ 1年次は共通で、2年次から文系と理系のコースに分かれる。

※ ○の付いた数字は、教科の枠を超えた選択科目の単位数を示す。

※ 3年次は、○数字の選択科目から、文系10単位(3か4科目)理系4単位(1か2科目)を選択し履修する。

様式7 高等部普通科 (I) 課程

① 教育課程表 (令和4・5年度入学者)

I 課程 (高等学校の教育課程に自立活動を加えて編成)

→ は、次年度指定した科目を履修するということ。

...→ は、選択した科目を2年間継続履修するということ。

教科	科目	標準 単位数	共通	文系		理系		備考
			1学年	2学年	3学年	2学年	3学年	
国語	現代の国語★	2	2					・2年次と3年次で「論理国語」と「国語表現」を継続して分割履修する。
	言語文化★	2	2					
	論理国語	4		2	2	2	2	
	国語表現	4		2	2	2	2	
地理歴史	地理総合★	2		2		2		・希望する大学によっては「地理探究」「日本史探究」または「世界史探究」を選択する。
	地理探究	3			③		③	
	歴史総合★	2		2		2		
	日本史探究	3			③		③	
	世界史探究	3			③		③	
公民	公共★	2	2					・希望する大学によっては「公共、倫理」及び「公共、政治・経済」を選択する。
	倫理	2			②		②	
	政治・経済	2			②		②	
数学	数学Ⅰ★	3	3	3				・必要があれば2年次に「数学Ⅰ」を継続履修し6単位とするか、「数学A」を選択履修する。 ・文系3年次は○の科目から選択履修する。ただし、進学希望の場合は、「数学A」を選択すること。
	数学Ⅱ	4			④	4		
	数学Ⅲ	3					4	
	数学A	2		3	②	②		
	数学B	2			②		2	
	数学C	2					2	
	数学基礎セミナー	学設			②			
理科	生物基礎☆	2	2					・生物、化学、地学、物理は各基礎を履修した後に履修することができる。 ※1：理系2年次に「生物」または「化学」を選択した場合は2年間で継続履修。 ・希望する大学によっては A：生物基礎・化学基礎・地学基礎・物理基礎のうち2科目選択 B：生物・化学・地学・物理から1科目選択 C：生物基礎・化学基礎・地学基礎・物理基礎から1科目選択並びに生物・化学・地学・物理から1科目選択 D：生物、化学、地学、物理から2選択
	化学基礎☆	2	2					
	地学基礎◇	2		2	②	2		
	物理基礎◇	2						
	生物	4				②	②	
	化学	4			④	※1		
	地学	4					④	
	物理	4						
保健体育	体育★	7～8	2	2	3	2	3	
	保健★	2	1	1	0	1	0	
芸術	音楽Ⅰ☆	2	2	2				・1年次は「音楽Ⅰ」を必修。 ※2：文系の2年次は「音楽Ⅰ」を継続か「音楽Ⅱ」「美術Ⅰ」から1科目選択し履修する。 ・3年次は音楽か美術の履修済の科目の次の科目を選択するか未履修の科目を選択する。
	音楽Ⅱ	2					②	
	音楽Ⅲ	2		2	2	2		
	美術Ⅰ	2		※2	2		②	
	美術Ⅱ	2						
外国語	英語コミュニケーションⅠ★	3	3					※文系・理系とも共通。 ・2年次と3年次で「コミュニケーションⅡ」を継続して分割履修する。
	英語コミュニケーションⅡ	4		2	2	2	2	
	論理・表現Ⅰ	2		2		2		
	論理・表現Ⅱ	2			2		2	
家庭	家庭総合☆	4	2	2		2		
情報	情報Ⅰ★	2	2					
	情報探究	学設		1	②	0	②	
教科・科目計			25	25	25	25	25	
特別活動	HR活動		1	1	1	1	1	※3 3学年の自立活動は柔軟に対応できるような幅を持たせる。
	自立活動		2	2	2～③※3	2	2～③※3	
	総合的な探究の時間	3～6	2	2	2	2	2	
単位数合計			30	30	30	30	30	

★は、必修履修科目

☆は、本校で指定した必修履修科目

◇は、どちらか1科目選択の必修履修科目

※ 1年次は共通で、2年次から文系と理系のコースに分かれる。

※ ○の付いた数字は、教科の枠を超えた選択科目の単位数を示す。

※ 3年次は、○数字の選択科目から、文系12単位（3～6科目）理系4～6単位（2～3科目）を選択し履修する。

様式7 高等部普通科（訪問Ⅰ）課程

① 教育課程表（令和3～5年度入学者）

訪問教育Ⅰ課程（高等学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成）

教科等		科目名	標準 単位 数	1年	2年	3年	合計	備考
各学科に共通する各教科・科目	国語			1	1	1	3	
							0	
							0	
	地理歴史			0.5	0.5	0.5	1.5	
							0	
							0	
	公民			0.5	0.5	0.5	1.5	
							0	
							0	
	数学			1	1	1	3	
							0	
							0	
	理科			1	1	1	3	
							0	
							0	
							0	
	保健体育			0.2	0.2	0.2	0.6	
							0	
	芸術			0.5	0.5	0.5	1.5	
							0	
	外国語			0.4	0.4	0.4	1.2	
							0	
							0	
	家庭			0.4	0.4	0.4	1.2	
	情報			0.5	0.5	0.5	1.5	
	学校設定教科						0	
							0	
共通教科・科目単位数計			0	6	6	6	18	
総合的な探究の時間				0.5	0.5	0.5	1.5	
特別活動		ホームルーム活動		0.5	0.5	0.5	1.5	
自立活動				1	1	1	3	
計			0	2	2	2	6	
合計			0	8	8	8	24	

様式7 高等部普通科（訪問Ⅰ）課程

① 教育課程表（令和5～7年度入学者）

訪問教育Ⅰ課程（高等学校の教育課程に自立活動を加えて弾力的に編成）

教科等		科目名	標準 単位 数	1年	2年	3年	合計	備考
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	2	0.5	0.5	0.5	1.5	
		言語文化	2	0.5	0.5	0.5	1.5	
							0	
	地理歴史	地理総合	2	0.3	0.3	0.3	0.9	
		歴史総合	2	0.3	0.3	0.3	0.9	
							0	
	公民	公共	2	0.5	0.5	0.5	1.5	
							0	
							0	
	数学	数学Ⅰ	3	0.5	0.5	0.5	1.5	
							0	
							0	
	理科	生物基礎	2	0.5	0.5	0.5	1.5	
		化学基礎	2	0.5	0.5	0.5	1.5	
							0	
							0	
	保健体育	体育	7	0.2	0.2	0.2	0.6	
		保健	2	0.1	0.1	0.1	0.3	
	芸術	音楽Ⅰ	2	0.5	0.5	0.5	1.5	
							0	
	外国語	英語コミュⅠ	3	0.5	0.5	0.5	1.5	
							0	
							0	
	家庭 情報	家庭総合	4	0.5	0.5	0.5	1.5	
		情報Ⅰ	2	0.6	0.6	0.6	1.8	
	学校設定教科						0	
							0	
共通教科・科目単位数計			37	6	6	6	18	
総合的な探究の時間				0.5	0.5	0.5	1.5	
特別活動			ホームルーム活動	0.5	0.5	0.5	1.5	
自立活動				1	1	1	3	
計			0	2	2	2	6	
合計			37	8	8	8	24	

様式7 高等部普通科（Ⅱ）課程

② 授業時数表

Ⅱ課程（知的特別支援学校高等部の教育課程で編成）

教科等			1年		2年		3年		備考
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科	国語		105	3	105	3	105	3	
	社会		70	2	70	2	70	2	
	数学		105	3	105	3	105	3	
	理科		70	2	70	2	70	2	
	音楽		70	2	70	2	70	2	
	美術		70	2	70	2	70	2	
	保健体育		70	2	70	2	70	2	体育理論・保健を含む
	職業		140	4	140	4	140	4	
	家庭		70	2	70	2	70	2	
	外国語		35	1	35	1	35	1	
	情報		35	1	35	1	35	1	
	学校設定教科		0		0		0		
			0		0		0		
		0		0		0			
共通教科・科目単位数計			840	24	840	24	840	24	
道徳科			0	0	0	0	0	0	道徳活動計画に基づいて 教育活動全体で指導する
総合的な探究の時間			70	2	70	2	70	2	
特別活動		ホームルーム活動	35	1	35	1	35	1	
自立活動			105	3	105	3	105	3	
計			210	6	210	6	210	6	
合計			1050	30	1050	30	1050	30	

様式7 高等部普通科（訪問Ⅱ）課程

② 授業時数表

訪問教育Ⅱ課程（知的特別支援学校高等部の教育課程を弾力的に編成）

教科等			1年		2年		3年		備考
各 学 科 に 共 通 す る 各 教 科	国語		70	2	70	2	70	2	
	社会		14	0.4	14	0.4	14	0.4	
	数学		70	2	70	2	70	2	
	理科		14	0.4	14	0.4	14	0.4	
	音楽		14	0.4	14	0.4	14	0.4	
	美術		10.5	0.3	10.5	0.3	10.5	0.3	
	保健体育		3.5	0.1	3.5	0.1	3.5	0.1	体育理論・保健を含む
	職業		3.5	0.1	3.5	0.1	3.5	0.1	
	家庭		3.5	0.1	3.5	0.1	3.5	0.1	
	外国語		3.5	0.1	3.5	0.1	3.5	0.1	
	情報		3.5	0.1	3.5	0.1	3.5	0.1	
	学校設定教科		0		0		0		
			0		0		0		
			0		0		0		
共通教科・科目単位数計			210	6	210	6	210	6	
道徳科			0		0		0		全教育活動の中で行う
総合的な探究の時間			0		0		0		全教育活動の中で行う
特別活動		ホームルーム活動	0		0		0		
自立活動			70	2	70	2	70	2	
計			70	2	70	2	70	2	
合計			280	8	280	8	280	8	

(1) 教科書

教科名	科目名	発行者		教科書の 記号・番号	教科書名	使用学年
		番号	略称			
国語	論理国語	183	第一	論国 712	高等学校 標準論理国語	2
	国語表現	050	大修館	国表 701	国語表現	2
	国語表現	050	大修館	国表 307	国語表現 改訂版	3
地理歴史	地理総合	046	帝国	地総 703	高等学校 新地理総合	2
	歴史総合	183	第一	歴総 711	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	2
	地理B	046	帝国	地B 304	新詳地理B	3
公民	政治・経済	007	実教	政経 313	最新政治・経済 新訂版	3
数学	数学 I	007	実教	数 I 708	高校数学 I	2
	数学A	007	実教	数A 323	高校数学A 新訂版	3
理科	物理基礎	002	東書	物基 702	新編物理基礎	2
	物理	002	東書	物理 308	改訂 物理	3
保健体育	保健	050	大修館	保体 701	現代高等保健体育	2
		050	大修館	保体 305	最新高等保健体育改訂版	3
芸術	音楽 I	027	教芸	音 I 702	高校生の音楽 1	2
	音楽 II	027	教芸	音 II 309	高校生の音楽 2	3
外国語	英語コミュニケーション II	009	開隆堂	C II 704	Amity English Communication II	2
	論理・表現 I	009	三省堂	論 I 702	Amity English Logic and Expression I	2
	英語表現 I	015	三省堂	英 I 325	SELECT English Expression I New Edition	3
	英語会話	015	三省堂	英会 302	SELECT English Conversation	3
家庭	家庭総合	007	実教	家総 703	家庭総合	2

(1) 教科用図書

種目名	発行者	図書コード	教科書名	使用学年
国語	偕成社	V01	五味太郎・しかけ絵本 1 きいろいのは ちょうちょ	1～3
	グランまま社	006	つちだよしはるの絵本 ことばえほん	1～3
社会	東洋館	001	くらしに役立つ社会	1～3
	偕成社	W12	木村裕一しかけ絵本 1 2 げんきにごあいさつ	1～3
算数・数学	偕成社	A02	(エリックカールの絵本) かずのえほん 1, 2, 3 どうぶつえん	1～3
理科	ひかりのく	I08	改訂新版体験を広げることものずかん 8 あそびのずかん	1～3
	小学館	797	小学館の図鑑NEO〔新版〕科学の実験DVDつき	1～3
保健体育	朝日新聞	520	たのしいうんどう こどものための実用シリーズ	1～3
	世界文化社	656	ユーモアせいかつ絵本・てあらいあらいくん	1～3
	福音館	E13	かがくのとも絵本 きゅうきゅうばこ新版	1～3
	くもん出版	785	ひかりではっけん みえた! からだのなか	1～3
美術	東京書籍	523	みつけて!アートたんてい	1～3
	ポプラ社	001	いろいろいろの本	1～3
音楽	くもん出版	G03	CD付き 楽器カード	1～3
	ベネッセ-コーポレーション	571	すてきなピアノえほんDX (たまひよ音楽遊び)	1～3
	成美堂出版	550	音と光のでる絵本いっぱいスイッチ	1～3
英語	ベネッセ-コーポレーション	※	しまじろうのえいごのうた	1～3
	コスミック出版	※	えいごにほんご どうようえほん	1～3
	成美堂出版	520	CDつき絵で学ぶ小学生の英語レッスン ABCから英会話まで	1～3
職業家庭	東洋館	006	くらしに役立つ家庭	1～3
	小学館	634	きむらゆういちのパッチン絵本 おいしいな!	1～3
道徳	永岡書店	554	ポップアップ絵本 カラーモンスター きもちはなにいろ?	1～3
	日本図書	536	おやくそくえほん はじめての「よのなかルールブック」	1～3

様式1

1 幼児児童生徒数(教育部門、部、学級種別、学年、性別毎)

教育部門	学級種別	性別	幼稚部				小学部							中学部				高等部				合計
			3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	
肢体不自由	一般	男				0							0	1		1	2		1	1	2	4
		女				0							0				0				0	0
	計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	1	2	4
	重複障害	男					3	2	3	2	6	7	23	1	3	3	7	5	5	1	11	41
		女					3	1		1	2	5	12	4	3	3	10	4	1	3	8	30
	計						6	3	3	3	8	12	35	5	6	6	17	9	6	4	19	71
	訪問	男						2	2	3			7				0	1		1	2	9
		女						1	1			1	3	1		3	4			2	2	9
	計						0	3	3	3	0	1	10	1	0	3	4	1	0	3	4	18
	計	男	0	0	0	0	3	4	5	5	6	7	30	2	3	4	9	6	6	3	15	54
		女	0	0	0	0	3	2	1	1	2	6	15	5	3	6	14	4	1	5	10	39
	合計		0	0	0	0	6	6	6	6	8	13	45	7	6	10	23	10	7	8	25	93
	一般	男				0							0				0				0	0
		女				0							0				0				0	0
	計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重複障害	男											0				0				0	0
		女											0				0				0	0
	計						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	男											0				0				0	0
		女											0				0				0	0
	計						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	一般	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	1	2	4
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	1	2	4
	重複障害	男					3	2	3	2	6	7	23	1	3	3	7	5	5	1	11	41
		女					3	1	0	1	2	5	12	4	3	3	10	4	1	3	8	30
	計						6	3	3	3	8	12	35	5	6	6	17	9	6	4	19	71
	訪問	男					0	2	2	3	0	0	7	0	0	0	0	1	0	1	2	9
		女					0	1	1	0	0	1	3	1	0	3	4	0	0	2	2	9
	計						0	3	3	3	0	1	10	1	0	3	4	1	0	3	4	18
	計	男	0	0	0	0	3	4	5	5	6	7	30	2	3	4	9	6	6	3	15	54
		女	0	0	0	0	3	2	1	1	2	6	15	5	3	6	14	4	1	5	10	39
	合計		0	0	0	0	6	6	6	6	8	13	45	7	6	10	23	10	7	8	25	93

様式2

1 市町村(本人住民基本台帳)別幼児児童生徒数

教育部門	市町村	幼稚部				小学部							中学部				高等部				合計
		3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	
肢体不自由	沖縄市				0	1	5	6	3	5	4	24	2	2	2	6	3	3	2	8	38
	浦添市				0							0	1			1				0	1
	中城村				0						1	1	1			1		1		1	3
	北中城村				0						1	1	1			1			1	1	3
	うるま市				0	3	1	1	1	1	1	8	2	3	4	9	2	3	1	6	23
	金武町				0							0		1		1				0	1
	恩納村				0							0				0	1			1	1
	読谷村				0							0			2	2	1			1	3
	嘉手納町				0		1			1		2			1	1	1	1		2	5
	宜野湾市				0		1	1				2			1	1	2	1		3	6
	宜野座村				0	1						1				0				0	1
	北谷町				0	1				1	3	5				0			1	1	6
	西原町				0							0				0			1	1	1
	八重瀬町				0						1	1				0				0	1
	計	0	0	0	0	6	8	8	4	8	11	45	7	6	10	23	10	9	6	25	93
	〇〇市				0							0				0				0	0
	〇〇町				0							0				0				0	0
	〇〇村				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	6	8	8	4	8	11	45	7	6	10	23	10	9	6	25	93

2 市町村(保護者等住民基本台帳)別幼児児童生徒数

教育部門	市町村	幼稚部				小学部							中学部				高等部				合計
		3歳児	4歳児	5歳児	計	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3学年	計	
	沖縄市				0							0				0				0	0
	浦添市				0							0	1			1				0	1
	中城村				0							0				0				0	0
	北中城村				0							0				0				0	0
	うるま市				0							0				0				0	0
	金武町				0							0				0				0	0
	恩納村																				
	読谷村				0							0				0				0	0
	嘉手納町				0							0				0				0	0
	宜野湾市				0							0				0				0	0
	宜野座村																				
	北谷町																				
	西原町																				
	八重瀬町				0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
	〇〇市				0							0				0				0	0
	〇〇町				0							0				0				0	0
	〇〇村				0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
					0							0				0				0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1

疾 病 障 害 名		学 部	幼稚園		小学部		中学部		高等部		訪 問						全 体												
		性別	男	女	男	女	男	女	男	女	小学部		中学部		高等部		男	女	計	百分率									
											在籍	0	0	22	13	14					11	11	8	6	4	0	3	2	3
D N A 体 染 色	ダウン症候群(21トリソミー)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%									
	ソトス症候群		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1.0%									
	その他染色体異常		0	0	0	4	2	1	2	1	0	1	0	1	0	1	4	9	13	13.4%									
奇 形	カブキメイキャップ症候群		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%									
	その他の奇形症候群		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	2	2.1%									
脳・神経	頭蓋骨	三角頭蓋		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%									
		その他の頭蓋骨疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%									
		脳性まひ		0	0	11	6	9	5	5	3	1	2	0	0	0	0	26	16	42	43.3%								
	脳	脳原性運動機能障害		0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4.1%								
		てんかん		0	0	10	8	2	5	6	4	1	2	0	3	1	1	20	23	43	44.3%								
		脳・脊髄等低形成・欠損症		0	0	0	1	1	1	2	0	0	1	0	0	0	0	3	3	6	6.2%								
		小頭症		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1.0%								
		水頭症		0	0	4	0	1	1	3	2	2	1	0	0	0	1	10	5	15	15.5%								
		出生時低酸素性後遺症		0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3	1	4	4.1%								
		亜急性硬化性全脳炎(SSPE)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%								
		インフルエンザ脳炎後遺症		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1.0%								
		感染症後(脳炎・脳症等)後遺症		0	0	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	3	6	6.2%								
		脳外傷性(事故等)後遺症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%								
		その他の脳疾患		0	0	2	0	1	2	1	2	1	0	0	0	0	0	5	4	9	9.3%								
		脳血管	脳血管障害(出血・梗塞)性後遺症		0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	4	1	5	5.2%							
			その他の脳血管疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%							
		神経	結節性硬化症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%							
			その他の脳神経疾患		0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2.1%							
	精神及び行動の障害	精神	統合失調症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%								
			気分(感情)障害		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%							
神経症性障害				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%								
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%								
知的障害				0	0																								

疾病障害統計

泡瀬特別支援学校

疾 病 障 害 名		学部	幼稚部		小学部		中学部		高等部		訪 問						全 体			
		性別	男	女	男	女	男	女	男	女	小学部		中学部		高等部		男	女	計	百分率
		在籍	0	0	22	13	14	11	11	8	6	4	0	3	2	3	55	42	97	%
	その他の運動器疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1.0%
循環器	不整脈		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1.0%
	ファロー四徴症		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1.0%
	心房・心室中隔欠損症(術後含む)		0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4	5	5.2%
	弁疾患(狭窄症・閉鎖不全症)		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1.0%
	心筋症(拡張性・潜在性)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	川崎病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	心臓奇形・心血管奇形・欠損症		0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	4	4.1%
	その他の心疾患		0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	3.1%
	脾臓疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
呼吸器	慢性呼吸障害・呼吸不全		0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	1	0	2	2	5	7	7.2%
	その他の呼吸器系疾患		0	0	5	0	1	3	0	0	3	1	0	2	0	1	9	7	16	16.5%
腎・泌尿器	腎泌尿器奇形・低形成		0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	2	2.1%
	慢性腎機能障害・腎不全		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1.0%
	その他の腎臓疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	その他の膀胱疾患		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2	2.1%
消化器	その他の消化器疾患		0	0	2	1	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	4	4	8	8.2%
内分泌・代謝	ムコ多糖症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	思春期早発症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1.0%
	I型糖尿病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	II型糖尿病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	その他の内分泌・代謝疾患		0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0	2	3	5	5.2%
血液	白血病		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1.0%
	その他の血液疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
悪性腫瘍	白血病		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1.0%
	脳腫瘍		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	骨肉腫		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	その他の悪性腫瘍		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
アレルギー・膠原病・免疫不全	気管支喘息		0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2	4	4.1%
	アレルギー性結膜炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	アレルギー性鼻炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	アトピー性皮膚炎		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1.0%
	食物アレルギー		0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	3.1%
	薬物アレルギー		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	その他のアレルギー		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	膠原病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	免疫不全		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1.0%
眼	視力障害・視覚障害(盲)		0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2.1%
	眼球形成不全(欠損・萎縮)		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1.0%
耳鼻咽喉	聴覚障害・難聴(聾・人工鼓膜)		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1.0%
	その他の耳鼻咽喉系疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
皮膚	皮膚疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
歯・口腔	先天性顎疾患(無顎・小顎症等)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	その他の歯・口腔疾患		0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	2.1%

日課表

◇小学部

通常日課（6校時）		通常日課（4・5校時）		短縮日課	
事 項	時 刻	事 項	時 刻	事項	時刻
職員朝会	8:30～8:40	職員朝会	8:30～8:40	職員朝会	8:30～8:40
登校	8:50	登校	8:50	登校	8:50
朝の活動	8:50～9:00	朝の活動	8:50～9:00	朝の活動	8:50～9:00
1校時	9:00～9:45	1校時	9:00～9:45	1校時	9:00～9:45
2校時	9:55～10:40	2校時	9:55～10:40	2校時	9:50～10:35
3校時	10:50～11:35	3校時	10:50～11:35	3校時	10:40～11:25
4校時	11:45～12:30	4校時	11:45～12:30	4校時	11:30～12:15
給食	12:30～13:00	給食	12:30～13:00	給食	12:15～12:45
休憩	13:00～13:15	帰りの活動	13:00～13:25	休憩	12:45～12:55
5校時	13:15～14:00	下校（バス出発）	13:30	5校時	12:55～13:40
6校時	14:10～14:55	＜5校時の場合＞	13:00～13:15 13:15～14:00 14:00～14:10 14:15	6校時	13:45～14:30
帰りの活動	14:55～15:10			帰りの活動	14:30～14:40
下校（バス出発）	15:15			下校（バス出発）	14:45

下校時刻について

13:30下校 水（1～3年） 金（1, 2年）
 14:15下校 月（1年） 水（4～6年）
 15:15下校 月（2～6年） 火、木（1～6年） 金（3～6年）

◇中学部（日課表）

通常日課（50分授業）				短縮日課（45分授業）	
水曜日（5校時）		月・火・木・金曜日（6校時）		当該設定日	
事 項	時 刻	事 項	時 刻	事項	時刻
登校	8:50	登校	8:50	登校	8:50
学活	8:50～8:55	学活	8:50～8:55	学活	8:50～8:55
1校時	8:55～9:45	1校時	8:55～9:45	1校時	8:55～9:40
2校時	9:50～10:40	2校時	9:50～10:40	2校時	9:45～10:30
3校時	10:45～11:35	3校時	10:45～11:35	3校時	10:35～11:20
4校時	11:40～12:30	4校時	11:40～12:30	4校時	11:25～12:10
給 食	12:30～13:00	給 食	12:30～13:00	給食	12:10～12:40
休憩	13:00～13:15	休憩	13:00～13:15	休憩	12:40～12:55
5校時	13:15～14:05	5校時	13:15～14:05	5校時	12:55～13:40
学活	14:05～14:10	6校時	14:10～15:00	6校時	13:45～14:30
		学活	15:05～15:10	学活	14:35～14:40
下 校 （スクールバス発車）	14:15	下 校 （スクールバス発車）	15:15	下 校 （スクールバス発車）	14:45
通年 水曜日5校時					

◇高等部（日課表）

〈高等部〉	通常日課（50分授業）				短縮日課（45分授業）	
	日課	6校時日課	4校時日課	3校時日課	6校時日課	
事 項	時間	時 刻			事 項	時 刻
職員朝会	10分	8:30 ～ 8:40			職員朝会	8:30 ～ 8:40
登校		8:50			登校	8:50
SHR	5分	8:50 ～ 8:55			SHR	8:50 ～ 8:55
1 校 時	50分	8:55 ～ 9:45			1 校 時	8:55 ～ 9:40
2 校 時	50分	9:50 ～ 10:40			2 校 時	9:45 ～ 10:30
3 校 時	50分	10:45 ～ 11:35			3 校 時	10:35 ～ 11:20
4 校 時	50分	11:40～12:30		11:40～11:55 ※給食なし	4 校 時	11:25 ～ 12:10
給 食	30分	12:30～13:00			給 食	12:10 ～ 12:40
休憩	15分	13:00～13:15			休憩	12:40～12:55
5 校 時	50分	13:15～14:05	13:20～13:25		5 校 時	12:55～13:40
6 校 時	50分	14:10～15:00			6 校 時	13:45～14:30
SHR	5分	15:05～15:10			SHR	14:35～14:40
下校 （スクールバス発車）		15:15	13:30	12:00	下校	14:45

令和5年度			小学部学級編制表				
学年	学級	一般	在籍		合計	担任 (担当)	
		重複	男	女		男	女
1年	1	重複	1	2	3	0	2
	2		2	1	3	0	2
		小計	3	3	6	0	4
2年	1	重複	2	1	3	0	2
	2	訪問	2	1	3	0	2
		小計	4	2	6	0	4
3年	1	重複	3	0	3	0	2
	2	訪問	2	1	3	0	1
		小計	5	1	6	1	3
4年	1	重複	2	1	3	1	1
	2	訪問 複式	3	0	3	0	2
		小計	5	1	6	1	3
5年	1	重複	2	0	2	1	1
	2		2	1	3	1	1
	3		2	1	3	1	1
		小計	6	2	8	3	3
6年	1	重複	3	0	3	1	1
	2		2	1	3	1	1
	3		2	1	3	1	0
	4		0	3	3	0	2
	5	訪問	0	1	1	0	1
		小計	7	6	13	1	5
			担外			3	4
合 計			29	17	45	9	26
学級数:16学級 (一般学級:0 重複学級:12 訪問学級:4) 児童数:45名 重複学級35名〔男23 女12〕 訪問学級10名〔男7 女3〕 計45名〔男30 女15〕							

令和5年度			中学部学級編制表				
学年	学級	重複	在籍		合計	担任 (担当)	
		一般	男	女		男	女
1年	1	重複	1	2	3	1	2
	2		0	2	2	0	2
	3	一般	1	0	1	1	0
	4	訪問	0	1	1	0	1
	小計		2	5	7	1	4
2年	1	重複	2	1	3	3	0
	2		1	2	3	1	1
	小計		3	3	6	4	1
3年	1	重複	0	3	3	0	2
	2		3	0	3	2	0
	3	一般	1	0	1	1	0
	4	訪問	0	3	3	0	2
	小計		4	6	10	3	4
				担外		2	3
合計			13	13	23	8	9
学級数:10学級 (一般学級:2 重複学級:6 訪問学級:2) 生徒数:23名 一般学級2名(男2 女0) 重複学級21名(男7 女10) 訪問学級4名(男0 女4) 計23名(男9 女14)							

令和5年度 高等部学級編制表							
学年	学級	重複	在籍		合計	担任 (担当)	
		一般	男	女		男	女
1年	1	重複	2	1	3	2	1
	2		1	2	3	1	2
	3		2	1	3	2	1
	4	訪問	1	0	1	0	1
	小計		6	4	10	5	5
2年	1	重複	3	0	3	3	0
	2		2	1	3	1	2
	3	一般	1	0	1	0	1
	小計		6	1	7	4	3
3年	1	重複	1	2	3	1	2
	2		0	1	1	0	1
	3	一般	1	0	1	1	0
	4	訪問 複式	1	2	3	1	2
	小計		3	5	8	3	5
				担外		3	3
合計			15	10	25	15	16
学級数:11学級 (一般学級:2, 重複学級:7, 訪問学級:2) 生徒数:25名 一般学級:2名[男2 女0], 重複学級:19名[男11 女8] 訪問学級:4名[男2 女2] 計25名[男15 女10])							

卒業生進路状況

R5.4月現在

[中学部]

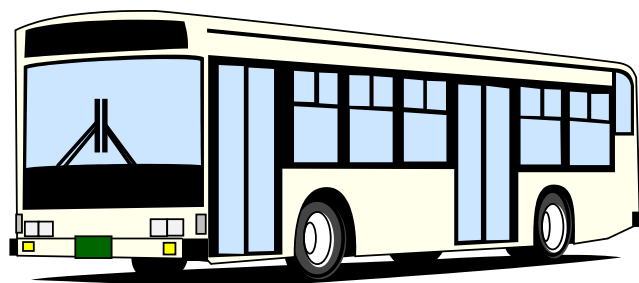
年度	本校 高等部	他特支 高等部	県立 高等学校	施 設	在 宅	合 計
昭60～平11	0	62	6	4	14	86
平成12～20	81	8	11	0	1	101
平成21	7	1				8
平成22	23	1	3			27
平成23	11					11
平成24	17	1				18
平成25	18					18
平成26	13		1			14
平成27	15					15
平成28	17	1	1			19
平成29	3				1	4
平成30	12		3			15
令和元	9					9
令和 2	7					7
令和 3	9					9
令和 4	10		1			11
合 計	252	74	25	4	16	371

[高等部]

年度	就職	進学	訓練等 サービス	生活介護	施設入所	在 宅	合 計
平成15～20		1		2	19	36	58
平成21				4	3		7
平成22		1		4	2		7
平成23	1		3	3	3		10
平成24			3	1	3	2	9
平成25		3	2	17	2		24
平成26			2	4	5		11
平成27	1	1	3	6	5	2	18
平成28		1	5	7	1		14
平成29			3	6	5		14
平成30			1	15			16
令和元		1	3	7	4		15
令和 2				1	2		3
令和 3			2	12	2		16
令和 4			3	5			8
合 計	2	8	30	94	56	40	230

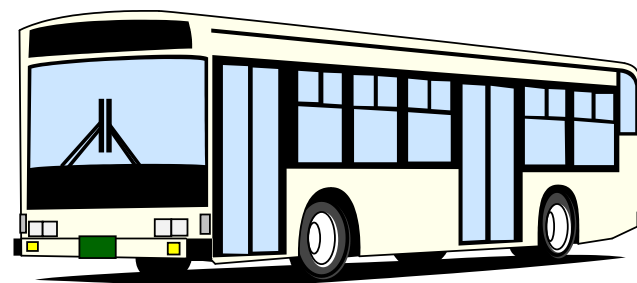
令和5年度

スクールバス路線運行図 (A、Bコース)



Aコース

沖縄800は11-47



Bコース

沖縄800は12-58

沖縄県立泡瀬特別支援学校

1、運行の目的

- (1) 通学生を交通難から守り、通学の便宜を図る。
- (2) 通学の為の付き添いを出来るだけ少なくする。
- (3) スクールバス利用により、視野の拡充をはかり、経験領域を広める

2、スクールバス

(1) 乗車前

- ア、予定時刻の5分前には、決められた場所に集まる。
- イ、道路わきの安全な場所で待つ。
- ウ、人数の多い所では並んで待つ。

(2) 乗車時

- ア、バスが完全に止まってから、バスに近づく。
- イ、元気よくあいさつする。
- ウ、車内では、ふざけたり、歩いたり、大声をだしたりしない。
- エ、窓から手や顔を出さない。窓から外に物を投げない。
- オ、他人の迷惑にならないように心がける。
- カ、バスの中は汚さない。いつもきれいにする。

(3) 下車時

- ア、忘れ物をしないように心がける。
- イ、バスが完全に止まってから移動する。
- ウ、帰りのあいさつをする。
- エ、保護者は迎える時間の5分前までにはバス停で待つようにする。

(4) 下車時

- ア、バス停から離れて道路わきによる。
- イ、決められた場所から離れる時は、バスの発車後にする。
- ウ、安全を確かめてから、道路を横断する。
- エ、バスの前には、絶対にでないこと。

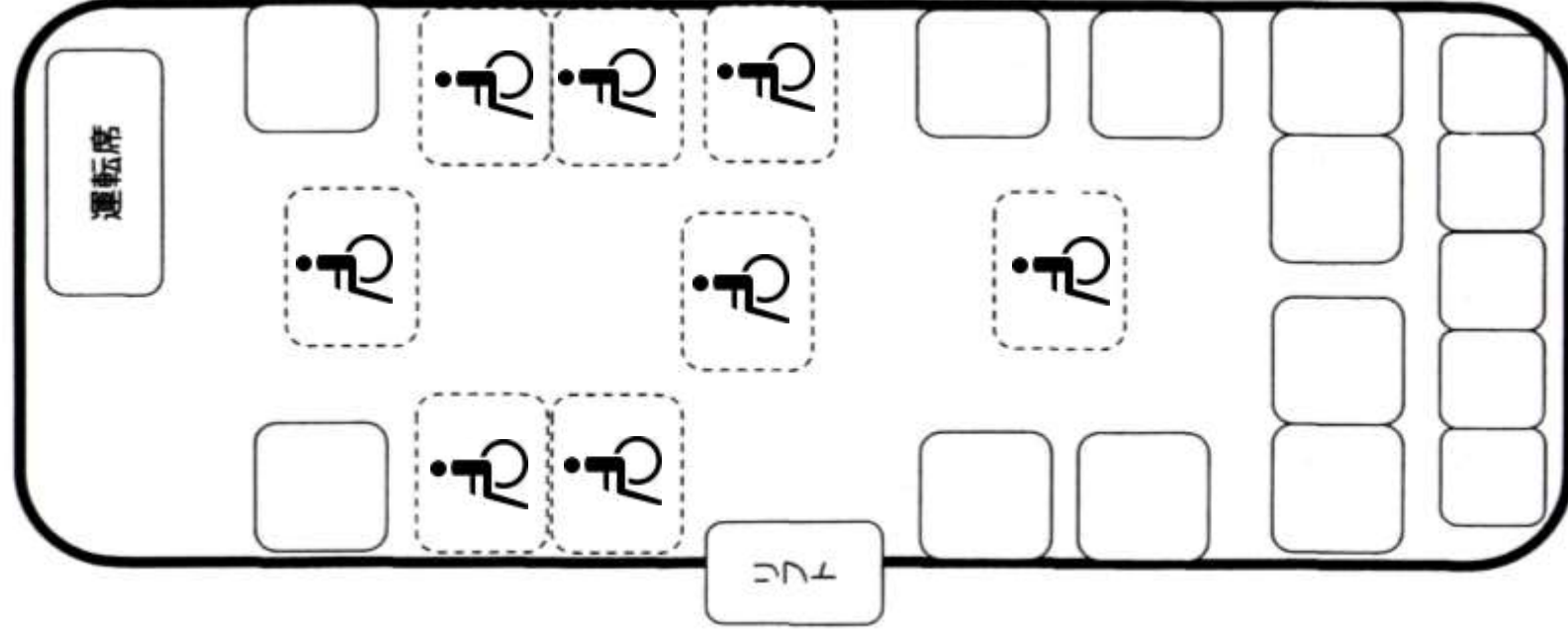
3、運行について

- (1) スクールバスの運行に不明な点がある、予定時刻を20分過ぎてもバスが来ない場合には、必ず学校に連絡する。

バスの座席表

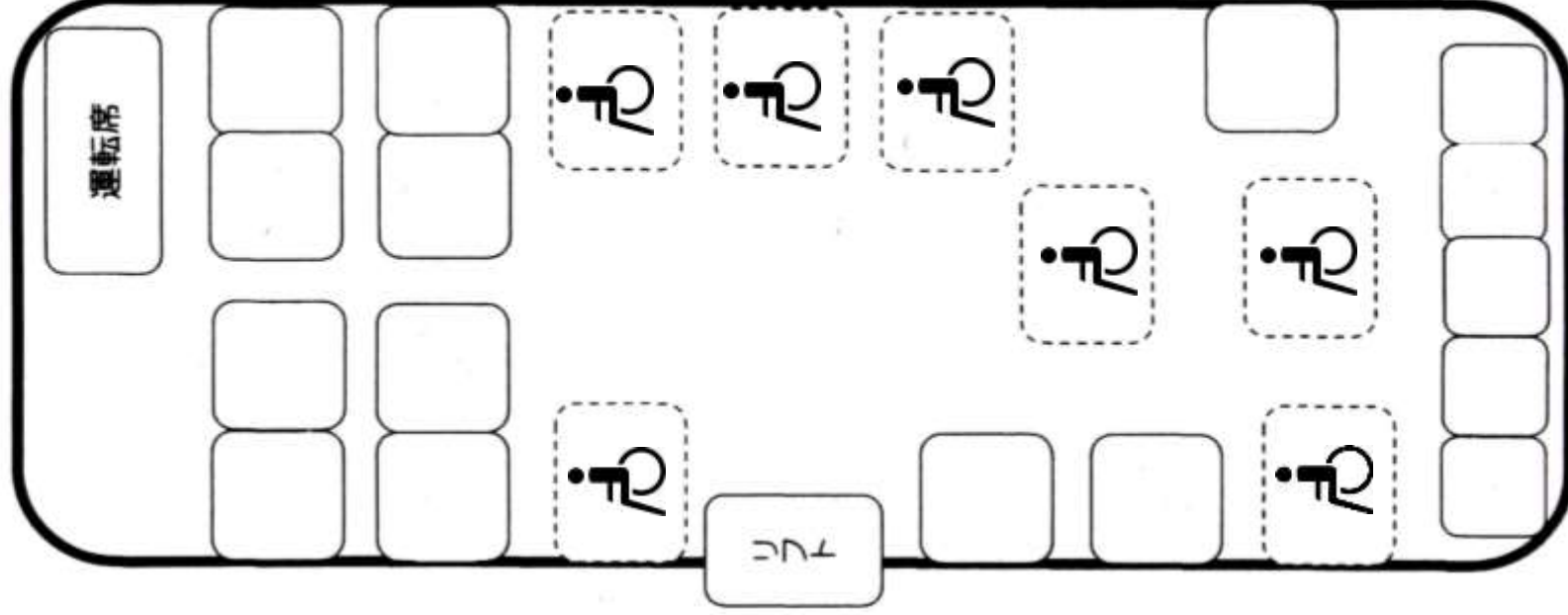
Bコース

車椅子：8台 大人：15名



Aコース

車椅子：7台 大人：16名



運行時刻表 A コース (仮)

	登 校	1 3 : 3 0 下校	1 4 : 1 5 下校	1 5 : 1 5 下校	1 2 : 0 0 下校 (給食無し)	1 4 : 4 5 下校 (短縮授業)
学校発	6 : 5 0	1 3 : 3 0	1 4 : 1 5	1 5 : 1 5	1 2 : 0 0	1 4 : 4 5
安谷屋バス停	7 : 1 0	1 3 : 4 2	1 4 : 2 7	1 5 : 2 7	1 2 : 1 2	1 4 : 5 7
伊平バス停	7 : 2 5	1 4 : 0 8	1 4 : 5 5	1 5 : 5 5	1 2 : 4 0	1 5 : 2 5
中央駐車場バス停	7 : 4 5	1 4 : 1 8	1 5 : 0 5	1 6 : 0 5	1 2 : 5 0	1 5 : 3 5
県営美咲団地前	8 : 1 0	1 4 : 2 6	1 5 : 1 6	1 6 : 1 6	1 3 : 0 1	1 5 : 5 6
美里二丁目	8 : 1 5	1 4 : 2 9	1 5 : 1 9	1 6 : 1 9	1 3 : 0 4	1 5 : 4 9
照屋入口バス停	8 : 2 0	1 4 : 3 2	1 5 : 2 3	1 6 : 2 3	1 3 : 0 8	1 5 : 5 2
学校着	8 : 3 0	1 4 : 4 5	1 5 : 3 5	1 6 : 3 5	1 3 : 2 0	1 6 : 0 5

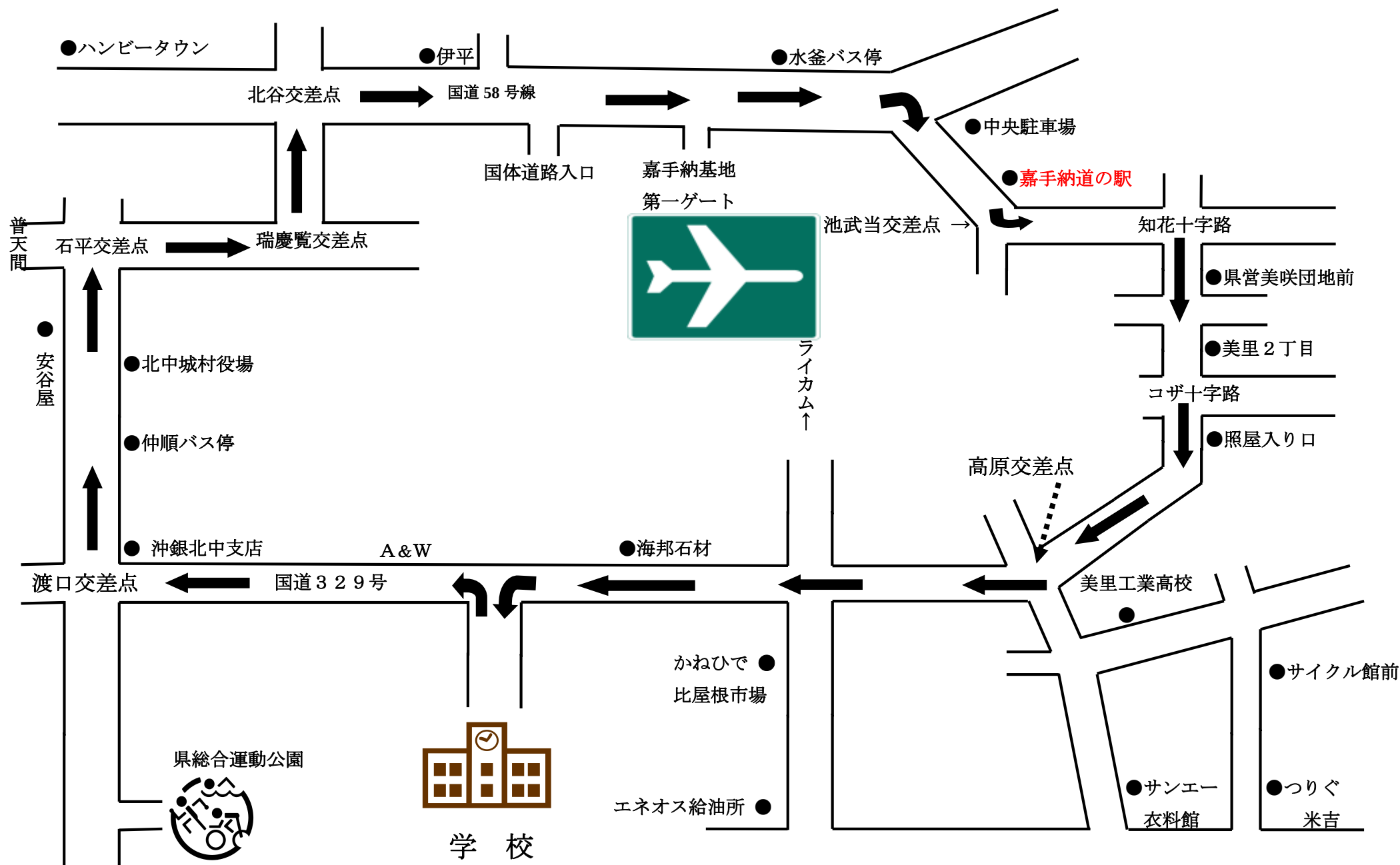
※下校時は運用コースで走行する事もあります。その場合バス専用の携帯電話から連絡することがありますので、宜しくお願い致します。

※交通状況次第となりますが、予定時刻を前後することもありますのでご了承ください。10分～15分以上遅れる場合はバス専用携帯電話から連絡します。

	月	火	水	木	金
1 3 : 3 0 下校 1 便			小 1 ~ 3		小 1 ~ 2
1 4 : 1 5 下校 2 便	小 1		小 4 ~ 6 中		
1 5 : 1 5 下校 3 便	小 2 ~ 6 中 高	小 中 高	高	小 中 高	小 3 ~ 6 中 高

※送り迎えの保護者は予定時刻の 5 分前からお待ち下さい。

A コース (仮)



運行時刻表 B コース (仮)

	登 校	1 3 : 3 0 下校	1 4 : 1 5 下校	1 5 : 1 5 下校	1 2 : 0 0 下校 (給食無し)	1 4 : 4 5 下校 (短縮授業)
学校発	6 : 5 0	1 3 : 3 0	1 4 : 1 5	1 5 : 1 5	1 2 : 0 0	1 4 : 4 5
中部病院前	7 : 1 0	1 3 : 4 5	1 4 : 3 0	1 5 : 3 0	1 2 : 1 5	1 5 : 1 0
ハイランダー前	7 : 2 2	1 4 : 0 0	1 4 : 4 5	1 5 : 4 5	1 2 : 3 0	1 5 : 2 5
安慶名自練前	7 : 3 7	1 4 : 1 5	1 5 : 0 0	1 6 : 0 0	1 2 : 4 5	1 5 : 4 0
JA 与那城バス停	7 : 5 0	1 4 : 2 5	1 5 : 1 0	1 6 : 1 0	1 2 : 5 5	1 5 : 5 0
泡瀬サイクル館	8 : 1 5	1 4 : 4 5	1 5 : 3 0	1 6 : 3 0	1 3 : 1 5	1 6 : 1 0
かねひで比屋根	8 : 2 5	1 4 : 5 5	1 5 : 4 0	1 6 : 4 0	1 3 : 2 5	1 6 : 2 0
学校着	8 : 3 5	1 5 : 0 0	1 5 : 4 5	1 6 : 4 5	1 3 : 3 0	1 6 : 2 5

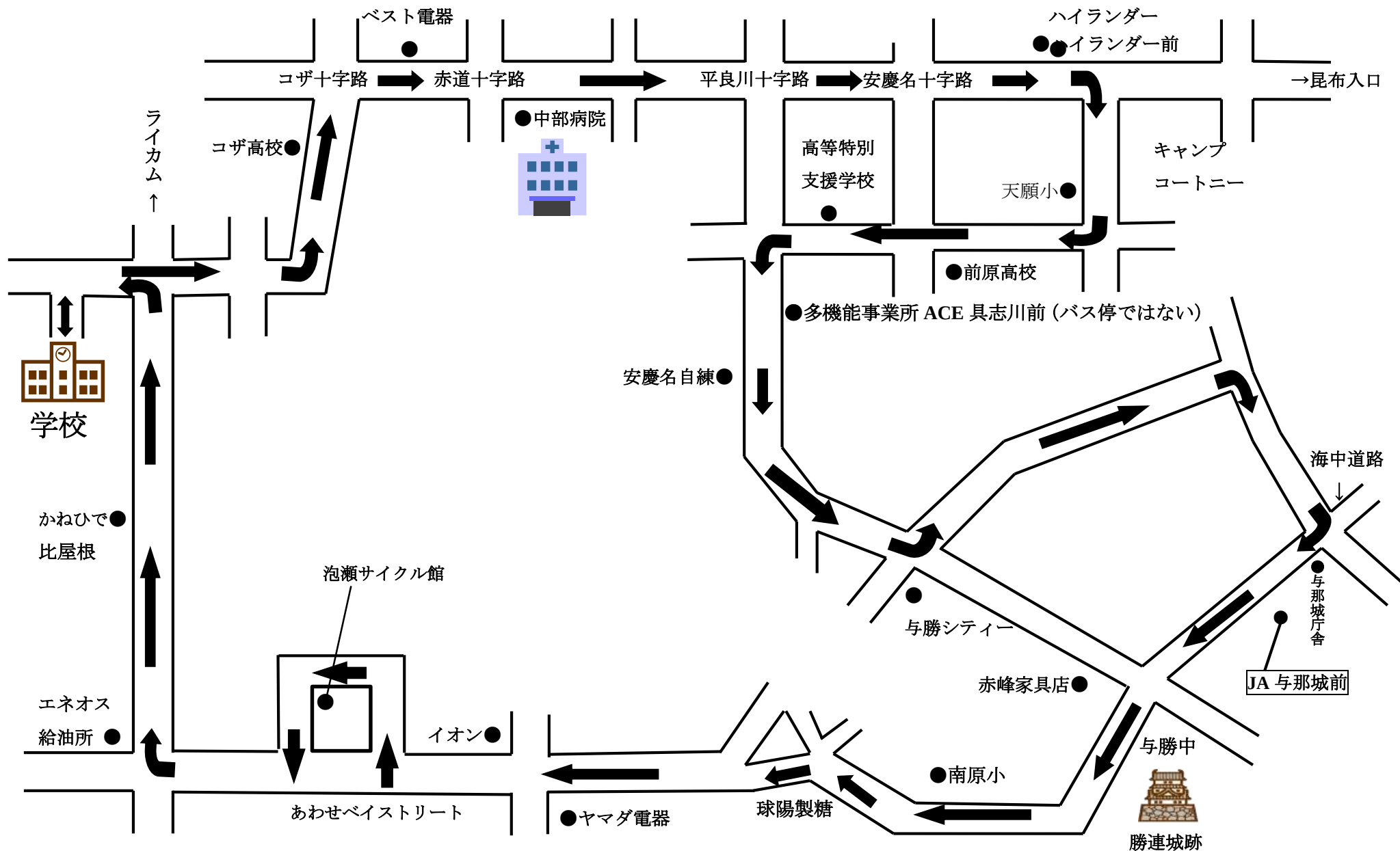
※下校時は運用コースで走行する事もあります。その場合バス専用の携帯電話から連絡することがありますので、宜しくお願い致します。

※交通状況次第となりますが、予定時刻を前後することもありますのでご了承ください。10分～15分以上遅れる場合はバス専用携帯電話から連絡します。

	月	火	水	木	金
1 3 : 3 0 下校 1 便			小 1 ~ 3		小 1 ~ 2
1 4 : 1 5 下校 2 便	小 1		小 4 ~ 6 中		
1 5 : 1 5 下校 3 便	小 2 ~ 6 中 高	小 中 高	高	小 中 高	小 3 ~ 6 中 高

※送り迎えの保護者は予定時刻の 5 分前からお待ち下さい。

Bコース (仮)



令和5年 スクールバス乗車児童生徒連絡一覧

Aコース

学年	名 前	
小3	a	小学部4名
小3	b	
小5	c	
小6	d	
中3	e	中学部3名
中3	f	
中3	g	
高1	h	高等部4名
高1	i	
高2	j	
高3	k	
		Aコース 計11名

Bコース

学年	名 前	連絡先
小1	l	小学部3名
小5	m	
小6	n	
中1	o	中学部3名
中1	p	
中2	q	
高2	r	高等部2名
高3	s	
		Bコース 計8名